

令和3年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業 報告書

令和4年3月



はじめに

公益社団法人全国公立文化施設協会では、令和3年度、文化庁より「劇場・音楽堂等基盤整備事業」を受託いたしました。本事業は、劇場・音楽堂等に勤務する職員や文化行政担当者等に対し、必要となる情報収集や提供、研修を実施することにより、劇場・音楽堂等の活性化や実演芸術の振興、舞台の安全管理等を支援、推進をするものです。

本報告書では、本年度に実施した「劇場・音楽堂等基盤整備事業」の概要を取りまとめました。劇場・音楽堂等に勤務する職員や文化行政担当者の皆様が、それぞれの職場で業務を遂行する上でご参考にしていただければ幸いです。

情報提供事業においては、これまで実施してきたホームページやメールマガジンの発信、日常相談業務、支援員の派遣に加え、新型コロナウイルス感染症による劇場・音楽堂等への影響を調査し報告書を作成いたしました。

研修事業においては、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながらの実施となりました。全国アートマネジメント研修会では、オンデマンド配信とライブ配信を併用し実施いたしました。全国舞台技術研修会では、少人数ではありますが会場に集まり体験を交えた研修を行う事ができました。地域別研修会でも同様にライブ配信、オンデマンド配信を併用するなど集う事が困難ななか工夫をし、実施いたしました。

なお、各事業の詳細については、各事業報告書及び当協会のホームページに掲載しておりますので、是非ご参照ください。末筆ながら、本年度の事業実施にあたりご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

令和4年3月

公益社団法人全国公立文化施設協会

目次

I 劇場・音楽堂等基盤整備事業 事業概要	3
令和3年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」	4
II 情報提供事業	7
劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供	8
支援員の派遣による支援	11
日常相談業務対応	15
劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査	17
III 研修事業	19
全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会	20
全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会	26
地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会	29
IV 参考資料	43
基盤整備事業一覧	44
支援員の派遣による支援募集要項	48
令和3年度「劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査」調査票	52
全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会募集要項	59
全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会募集要項	63

I 劇場・音楽堂等基盤整備事業 事業概要

令和3年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

令和3年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

事業名

令和3年度「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

事業実施期間

令和3年6月24日～令和4年3月31日

事業の趣旨・目的

本事業は、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（平成24年法律第49号。以下「劇場法」という。）及び「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」（平成25年文部科学省告示第60号）並びに文化芸術基本法（平成13年法律第148号改正平成29年6月）を踏まえ、我が国の文化拠点である劇場・音楽堂等（劇場法第2条第1項に規定する劇場、音楽堂等をいう。以下同じ。）において、実演芸術（劇場法第2条第2項に規定する実演芸術をいう。以下同じ。）に関する活動や、劇場・音楽堂等の事業が自主的・主体的に行われるよう情報提供事業及び研修・交流事業を実施することにより、劇場・音楽堂等の活性化のための基盤の整備を行うことを目的とする。

事業内容

【情報提供事業】

- 1 劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供
全国の劇場・音楽堂等の事業や管理・運営に必要な情報を収集し、提供する。
 - (1) 資料等の収集・提供（ホームページ、メールマガジン、電話、FAX、情報コーナー等での情報発信）
 - (2) 専門人材（コーディネーター）の活用促進
 - (3) 新型コロナウイルス感染症への対策内容とその成果に関する情報の収集、提供

- 2 劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援
劇場・音楽堂等の個別課題や地域の課題に対し、各分野の有識者や専門家により各施設のニーズに適切に対応した相談や助言等の支援を行う。
 - (1) 支援員の派遣による支援
 - (2) 日常相談業務対応
 - ①電話、FAX、郵便、電子メール等による相談
 - ②面談による相談
 - ③オンラインによる相談

3 劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）」施行以後の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場・音楽堂等の振興に係る諸施策に資する。

調査内容：テーマ「劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査」

調査期間：令和3年10月18日（月）～11月17日（水）

調査対象：国公立施設 2,142施設

【研修事業】

1 全国劇場・音楽堂等職員（アートマネジメント・舞台技術）研修会

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

(1) 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（オンライン）

配信期間：令和4年1月11日（火）～2月28日（月）

（内 ライブ配信）：令和4年1月12日（水）～1月14日（金）

(2) 全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

開催日：令和3年12月20日（月）～12月22日（水）

会 場：新国立劇場 中劇場

2 地域別劇場・音楽堂等職員（アートマネジメント・舞台技術）研修会

(1) 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

令和3年10月～令和4年2月

(2) 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

令和3年11月～令和4年3月

【事業評価】

本事業の実施結果について、外部有識者の意見を聴取し、適切な事業評価を行う。

Ⅱ 情報提供事業

劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供

支援員の派遣による支援

日常相談業務対応

劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供

事業の目的

劇場・音楽堂等や文化芸術に係る情報、資料を広く収集し、わかりやすい方法で希望者に提供することで、劇場・音楽堂等に働く職員の知識、技術の全体の向上を図る。

事業実施期間

令和3年6月24日～令和4年3月31日

事業内容

(1) 資料等の収集・提供（ホームページ、メールマガジン、電話、FAX、情報コーナー等での情報発信）

○提供方法

- ・ホームページでの情報提供
- ・メールマガジンの発行
- ・メールやFAXでの情報提供
- ・情報コーナーの設置

○収集内容

- ・国及び地方公共団体の文化芸術振興施策、助成制度
- ・劇場・音楽堂等の管理や運営に関する統計資料、調査報告
- ・アートマネジメントに関する研修資料、調査報告
- ・舞台技術に関する研修資料、調査報告
- ・人材養成及び確保に関する研修資料、調査報告
- ・経営の安定化に関する資料、調査報告
- ・施設改修に関する資料、調査報告
- ・安全管理に関する資料、調査報告
- ・劇場・音楽堂等施設情報及び公演情報 等

(2) 専門人材（コーディネーター）の活用促進

各分野の専門人材に登録を依頼し、ホームページに公開

(3) 新型コロナウイルス感染症への対策内容とその成果に関する情報の収集、提供

- ・情報を随時ホームページに掲載
- ・メールマガジン等で情報を発信

実施内容

(1) 資料等の収集・提供（ホームページ、メールマガジン、電話、FAX、情報コーナー等での情報発信）

○ホームページでの情報提供

ホームページを活用し、劇場・音楽堂等が必要かつ有益な情報、活動の幅を広げる情報を分かりやすく整理し、提供をする。

(掲載内容)

活動支援：施設に対する情報、支援、相談情報等を掲載（助成金／支援員／相談／よくある質問（FAQ）／改修相談／その他）

研修・イベント：研修会、イベント等の開催情報、募集等を掲載（全国アートマネジメント研修会／全国舞台技術研修会／地域別アートマネジメント研修会／地域別舞台技術研修会／その他）

政策・制度：国、行政の文化政策に関する情報を掲載（劇場・音楽堂等関連法規／文化政策／その他）

出版物・資料：公文協発行のハンドブック、書籍、事業実施報告書、調査研究報告書など

その他の支援：個別施設計画策定の推進のための情報提供

○メールマガジンの発行

メールマガジン「全国公文協情報フォーラム」を定期的（原則毎月15日）に発行。主に（1）全国公文協からのお知らせ、（2）ピックアップ、（3）会員等からのお知らせ、（4）コラム、（5）助成金等に関する情報をもとに構成。

発行：第119号（2021/7/15）～第127号（2022/3/15）

臨時号：2021/11/1、2022/2/22

送信数：約4,800通／1回

主な掲載内容：

号	発行日	内 容
第119号	2021/7/15	<ul style="list-style-type: none"> ・日本音楽芸術マネジメント学会 夏の研究会 ・国土交通省 建築物におけるバリアフリー 建築設計標準について ・〈連載コラム〉全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 2021 より ※助成情報（臨時号を除き毎号掲載）
第120号	2021/8/16	<ul style="list-style-type: none"> ・アートキャラバン事業について ・文化審議会の動向 ・総務省 社会生活基本調査への協力をお願い ・〈連載コラム〉全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 2021 より
第121号	2021/9/15	<ul style="list-style-type: none"> ・全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 告知 ・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 告知 ・宣言の拡大や延長に伴う公立文化施設の対応 ・アートキャラバン事業について ・文化庁令和4年度の概算要求 ・〈連載コラム〉個別施設計画の策定と施設の長寿命化

第 122 号	2021/10/15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査 ・ 全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 告知 ・ 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 告知 ・ 個別施設計画策定推進セミナー ・ 感染拡大予防ガイドライン改定 ・ アートキャラバン事業について ・ 〈連載コラム〉 個別施設計画の策定と施設の長寿命化
第 123 号	2021/11/15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査 回答期限延長 ・ 全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 募集開始 ・ 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 告知 ・ アートキャラバン事業について ・ 〈連載コラム〉 個別施設計画の策定と施設の長寿命化
第 124 号	2021/12/15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 募集開始 ・ Open Arts Network 第 4 回シンポジウム ・ アートキャラバン事業について ・ 文化庁令和 3 年度文化庁補正予算（案） ・ 東京文化会館 文化施設のあり方を考えるオンラインフォーラム ・ 〈連載コラム〉 公立文化施設が直面する課題の解決に向けて～ 2021 年度研究大会より～
第 125 号	2022/1/17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 オンライン配信継続 ・ 全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 終了報告 ・ 文化庁第 3 次補正予算決定 ・ 東京文化会館 文化施設のあり方を考えるオンラインフォーラム ・ 〈連載コラム〉 公立文化施設が直面する課題の解決に向けて～ 2021 年度研究大会より～
第 126 号	2022/2/15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 オンライン配信継続 ・ 〈連載コラム〉 公立文化施設が直面する課題の解決に向けて～ 2021 年度研究大会より～
第 127 号	2022/3/15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書等のご案内
臨時号	2021/11/1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『地域コミュニティ創造・再生事業企画提案コンペティション』の実施について
	2022/2/22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 再配信のお知らせ

○情報コーナーの設置

事務所内に情報コーナーを設け、全国の劇場・音楽堂等や、関連団体等からの情報を公開。また、これまで公文協が作成したハンドブック、報告書等も公開している。

(2) 専門人材（コーディネーター）の活用促進

各種専門家をアドバイザー・コーディネーターとして登録。研修会講師や相談員、支援員として派遣。

登録者数：アドバイザー 10 名

コーディネーター 64 名

(3) 新型コロナウイルス感染症への対策内容とその成果に関する情報の収集、提供

新型コロナウイルス感染症の対策についてガイドラインをはじめ関連情報を随時提供（メールマガジン・ホームページ等）

支援員の派遣による支援

事業の目的

劇場・音楽堂等において、実演芸術に関する活動や、劇場・音楽堂等の事業が自主的・主体的に行われるよう、自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言を行う専門家（以下、「支援員等」という）を派遣し、企画・運営力等の向上を図ることを目的とする。

支援内容（テーマ）

- （１）運営方針等に関する指導助言
- （２）年間事業計画に関する指導助言
- （３）個別の自主企画事業の企画制作に関する指導助言
- （４）中期計画（３か年程度）の企画立案に関する指導助言
- （５）劇場・音楽堂等が行う芸術文化活動（創作活動）の企画制作に関する指導助言
- （６）施設の管理・運営に関する指導助言
- （７）施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に関する指導助言
- （８）劇場・音楽堂等の新設に関する指導助言（基本構想立案段階でも可）
- （９）多言語対応、バリアフリーに関する指導助言
- （１０）その他劇場・音楽堂等の活性化につながる指導助言

派遣する支援員等

- ・劇場・音楽堂等の活動の活性化に資する文化政策、舞台芸術、管理運営、事業企画、舞台技術、施設改修等の分野に関する有識者又は専門家。
- ・原則として、申込者毎に１名の派遣とする。審査会で支援内容により複数の支援員の派遣が望ましいと判断された場合は、複数の支援員を派遣する。
- ・同じ支援員は、同じ施設等に連続して２年までとする。

派遣の種類

- ・館派遣型：１施設を対象に派遣
- ・地域派遣型：複数施設に対しての支援（同一市内、同一県内の複数施設、同一管理者の複数施設等）

派遣回数・時間

年間最大３回まで。１回の支援時間は概ね４時間程度。

派遣回数・時間

学識経験者等による「審査会」を開催し、派遣先、支援内容、実施回数等を決定する。

申込期間

令和3年6月15日（火）～7月5日（月）

審査会

委員：太下 義之（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
酒井 誠（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー
渡辺日佐夫（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター
開催日時：令和3年7月14日（水）10:00～12:00
開催場所：東京都中小企業会館5階会議室
派遣決定件数：32件 72回

実施期間

令和3年8月1日（日）～令和4年1月15日（土）

※新型コロナウイルス感染症の状況により、令和4年3月まで延期

実施件数

30件 62回

報告書

ホームページに掲載

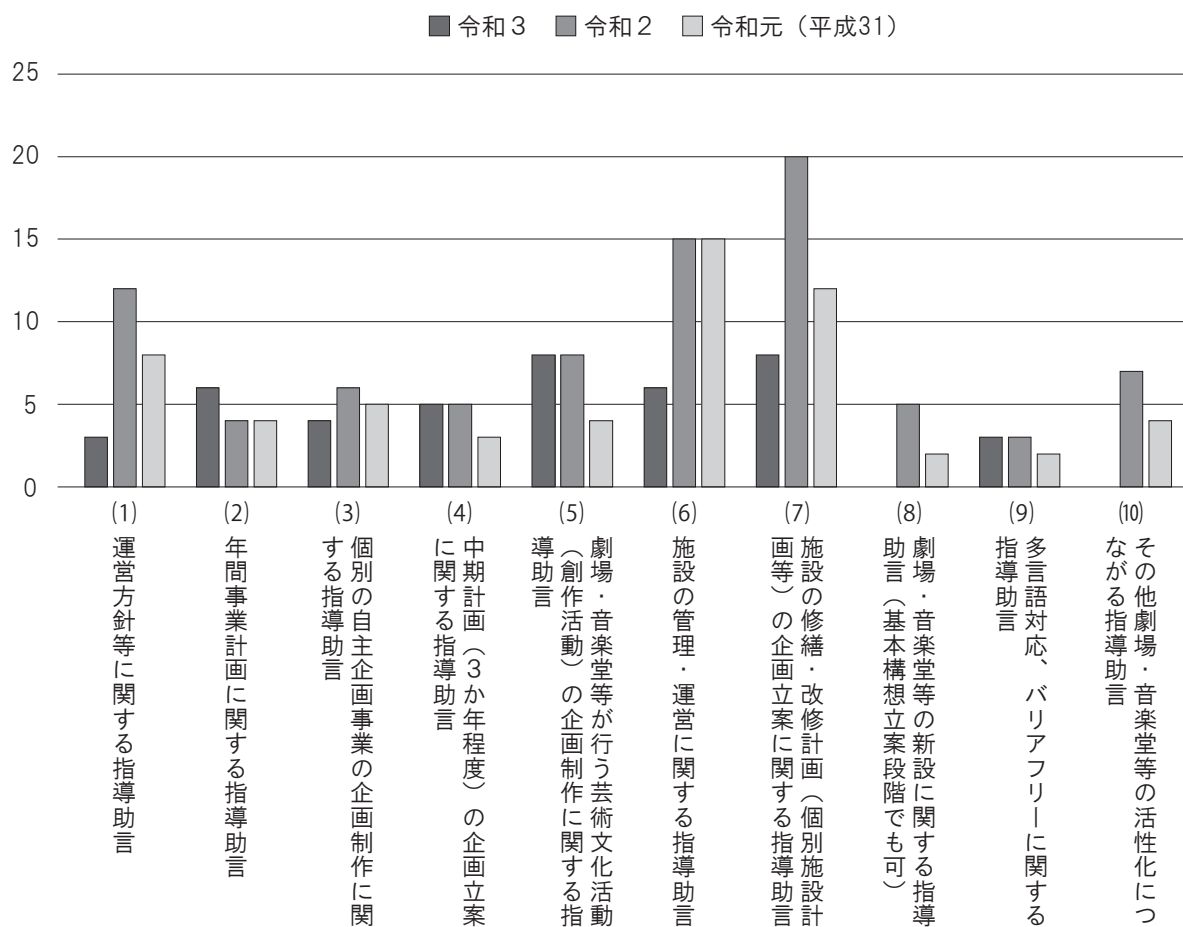
<https://zenkoubun.jp/support/advice.html>

支援員派遣実績一覧

No.	都道府県	施設名	回数	支援員	(1) 運営方針	(2) 年間計画	(3) 自主企画	(4) 中期計画	(5) 芸術文化活動	(6) 管理・運営	(7) 修理・改修計画	(8) 新設	(9) 他言語対応等	(10) その他
1	北海道	幕別町百年記念ホール (百年記念ホール)	2	渡部 久美						○				
2	宮城県	多賀城市文化センター	1	渡部 久美						○			○	
3	宮城県	名取市文化会館	2	小野木 豊昭			○							
4	山形県	荘銀タクト鶴岡 (鶴岡市文化会館)	2	矢作 勝義			○							
5	茨城県	神栖市文化センター	1	水戸 雅彦					○					
6	埼玉県	上里町総合文化センター (ワーブ上里)	2	阿部 栄		○	○							
7	埼玉県	さいたま市文化センター	2	柴田 英杞					○					
8	東京都	板橋区立文化会館	3	松井 憲太郎				○						
9	東京都	調布市せんがわ劇場	3	柴田 英杞				○						
10	神奈川県	厚木市文化会館	2	武濤 京子		○								
11	新潟県	新潟市北区文化会館	2	渡辺 昌明		○								
12	富山県	水見市芸術文化館	2	眞野 純						○				
13	愛知県	犬山市民文化会館	3	浅野 芳夫					○		○			
14	愛知県	おおぶ文化交流の杜 (allobu)	3	澤村 潤					○					
15	愛知県	豊田市民文化会館	3	林 健次郎					○					
16	愛知県	西尾市文化会館	1	大久保 充代	○									
17	愛知県	半田市福祉文化会館 (雁宿ホール)	2	林 健次郎	○				○	○			○	
18	滋賀県	長浜文化芸術会館	2	神保 富美子		○								
19	大阪府	茨木市市民総合センター (クリエイティブセンター)	2	森 隆一郎					○					
20	大阪府	堺市民芸術文化ホール (フェニーチェ堺)	1	森岡 めぐみ				○		○				
			1	矢島 邦信				○		○				
21	大阪府	堺市立西文化会館 (ウエスティ)	2	鈴木 京子									○	
22	奈良県	なら 100 年会館	2	本杉 省三							○			
23	島根県	島根県芸術文化センター いわみ芸術劇場「グラントワ」	2	伊藤 久幸							○			
24	山口県	山口市民会館	2	近江 哲朗							○			
25	高知県	高知県立県民文化ホール	1	草加 叔也							○			
26	熊本県	宇土市民会館	2	初山 勝人	○	○		○	○					
27	熊本県	大津町生涯学習センター	2	草加 叔也							○			
28	熊本県	水俣市文化会館	3	加藤 亮一							○			
29	大分県	大分県立総合文化センター (iichiko 総合文化センター)	2	林 健次郎		○	○							
30	宮崎県	日向市文化交流センター	2	山本 康友							○			

支援内容実績比較（3 年・申込時）

	(1) 運営方針等に関する指導助言	(2) 年間事業計画に関する指導助言	(3) 個別の自主企画事業の企画制作に関する指導助言	(4) 中期計画（3 年程度）の企画立案に関する指導助言	(5) 劇場・音楽堂等が行う芸術文化活動（創作活動）の企画制作に関する指導助言	(6) 施設の管理・運営に関する指導助言	(7) 施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に関する指導助言	(8) 劇場・音楽堂等の新設に関する指導助言（基本構想立案段階でも可）	(9) 多言語対応、バリアフリーに関する指導助言	(10) その他劇場・音楽堂等の活性化につながる指導助言
令和 3 年度	3	6	4	5	8	6	8	0	3	0
令和 2 年度	12	4	6	5	8	15	20	5	3	7
令和元 （平成 31 年度）	8	4	5	3	4	15	12	2	2	4



日常相談業務対応

事業の目的

劇場・音楽堂等が抱える個別課題解決に加え、必要とされる情報やノウハウ提供等相談を通して行い、解決への道筋を見出していく手助けを行い、劇場・音楽堂等の活性化を多面的に支援する。

実施期間

令和3年6月24日～令和4年3月31日

相談の実施方法

- (1) 電話、FAX、郵便、電子メール等による相談
- (2) 面談による相談
- (3) オンラインによる相談

相談の内容

- (1) 施設の運営及び事業の企画・実施へのアドバイス
- (2) 公演企画・契約がよりスムーズに行えるような仲介及び支援
- (3) 芸術・文化に関する最新の情報の提供
- (4) 施設の改修・新築計画の立て方等へのアドバイス
- (5) その他、劇場・音楽堂等の活性化のために必要な事項

相談対応者

劇場・音楽堂等及び舞台芸術の専門家、研究者等

対応時間

原則 10時00分～17時00分

相談結果報告

主な相談事項をFAQ「よくある相談」としてまとめ、広く公開をする

実施内容

- 1 来所による相談 2件
- 2 電話、FAX、電子メールによる相談 70件
- 3 オンラインによる相談 3件（個別施設計画策定推進個別相談 2件含む）

相談内容	管理運営	19件
	改修、新設	18件
	コロナ禍	24件
	公演企画	11件

相談事例

1 施設の管理運営

○管理運営

- ・BCP（事業継続計画）の策定を求められている。一般的な基準や基礎知識を教えてください。
- ・舞台機構の事故例と事前・事後の対策について教えてください。
- ・2008年に改定した「レーザー機器使用許可に関する留意事項」について知りたい。
- ・webメディアやSNSを活用した効果的なマーケティングについて知りたい。
- ・公演中の事故に対して、責任や弁済の考え方を教えてください。
- ・全国の公立文化施設のバリアフリー化状況について伺いたい。
- ・高所作業について法改正があったが、ギャラリー展示作業も対象となるのか。
- ・空調機器が壊れた際の予約済みの貸館への保証について事例を教えてください。
- ・来場者からのカスタマーハラスメントの対策について教えてください。

○改修新設

- ・音響関係の設計仕様書の作成についてアドバイス先を紹介してほしい。
- ・特定天井の改修にあたり基本設計を当初建築の設計事務所と随意契約することの優位性を知りたい。
- ・地域における大規模改修の先行事例先を知りたい。
- ・改修により車椅子席やそこに至るスロープを設置する際の基準等を知りたい。
- ・ホール間の音漏れの基準（許容範囲）や水準（数値等）を知りたい。
- ・ITVカメラの更新にあたり、インターネット配信にも併用できる機材はあるか。
- ・吊物機構の改修時におけるワイヤーロープの再利用について、方法はあるか。
- ・改修や修繕等に対する国からの補助金制度を知りたい。（複数）

○コロナ禍関係

- ・感染防止に係る改修に対する国からの補助について知りたい。
- ・ガイドラインについて、障害者が出演する際の注意すべき点を知りたい。
- ・ガイドラインで、施設内マスク着用となっているが科学的な根拠を教えてください。（複数）
- ・舞台上での表彰状贈呈での接触感染防止策について教えてください。（複数）
- ・催事前のPCR検査実施の基準を知りたい。
- ・外気導入ができない附室の換気方法を知りたい。
- ・合唱やコーラス練習の感染防止策について。
- ・地域の文化団体利用時の出演者と来場者の混在時の客席・楽屋の対応について。
- ・罹患者発生による貸館公演中止の際の施設に対する保証について。
- ・家族や友達同士など同一グループの客席間隔について考え方を知りたい。
- ・公演契約書に盛り込む中止の際の補償率の考え方や事例を知りたい。

2 公演企画

- ・コロナによる収容定員減少に伴う、販売済みチケット等の対応策を知りたい。
- ・公演中止時のチケット払い戻し対応期間（法的債務）について教えてください。
- ・文化庁等助成金の活用策について知りたい。
- ・公演のインターネット配信について、必要な配信機材や著作権等の注意すべき事項について知りたい。
- ・インターネット配信を行う際の契約や責任分担について知りたい。

劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

事業の目的

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）」施行以後の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場、音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場、音楽堂等の振興に係る諸施策に資する。

事業実施期間

令和3年6月24日～令和4年3月31日

調査テーマ

劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査

調査項目

- 1) 施設の基本情報
 - 質問1 設置者種別
 - 質問2 運営形態
- 2) 職員等の状況
 - 質問3 館長等
 - 質問4 芸術監督等
 - 質問5 全体職員数
- 3) 施設運営費
 - 質問6 運営費
 - 質問7 指定管理者施設の補填の有無
 - 質問8 補助金等の活用
- 4) 施設の利用状況
 - 質問9 施設全体の利用状況
 - 質問10 ホール毎の利用状況
- 5) 事業の実施状況
 - 質問11 事業の実施状況
 - 質問12 事業中止について要請、申し入れ等の有無
- 6) その他の影響と今後について
 - 質問13 新型コロナウイルス感染症の対応で困ったこと
 - 質問14 貴施設において、新型コロナウイルス感染症の対策についての情報源としてどのような情報を活用したか
 - 質問15 今後の運営で懸念される事項

質問16 新型コロナウイルス感染症の拡大によって劇場・音楽堂等の活動が縮小されたことにより、地域にどのような影響を与えたか

質問17 感染症など不測の事態に対し、今後どのようなことが必要か

調査期間：令和3年10月18日（月）～11月17日（水）

調査対象：国公立施設 2,142施設

回答数（回答率）：1,349施設（62.98%）

有識者会議

委員：片山 泰輔（公立大学法人 静岡文化芸術大学 文化政策学部 芸術文化学科／大学院文化政策研究科 教授）

大久保充代（公益財団法人八尾市文化振興事業団 業務執行理事 八尾市文化会館プリズムホール 館長）

開催日：令和4年1月21日（金）10:00～12:00

開催場所：東京都中小企業会館8階会議室A

議題：アンケート調査の分析及び考察、今後の提言等

調査報告書

アンケート結果及び分析、有識者会議での意見を取りまとめ発行する。

発行：令和4年3月

<https://www.zenkoubun.jp/publication/survey.html>

Ⅲ 研修事業

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

事業の目的

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的として、アートマネジメントに関する研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

対象

劇場・音楽堂等職員、地方自治体の文化芸術振興行政担当者、アートマネジメント教育関係者、学生、アートマネジメントに関心のある方、一般の方等

開催日（オンライン）

令和4年1月11日（火）～2月28日（月）

収録：令和3年12月14日 収録場所：世田谷パブリックシアター他

ライブ配信：令和4年1月12日（水）～1月14日（金）

令和4年2月21日（月）～2月28日（月）再配信

募集期間

令和3年12月15日（水）～2月28日（月）

実施内容

企画委員：草加 叔也（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
柴田 英杞（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
水戸 雅彦（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター
矢作 勝義（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

企画会議（第1回）

開催日時：令和3年7月2日（金）10：00～12：00

開催場所：東京都中小企業会館8階会議室A

議 題：1 令和2年度研修会実施状況について
2 令和3年度研修会の実施について

企画会議（第2回）

開催日時：令和3年8月6日（金）10：00～12：00

開催場所：東京都中小企業会館8階会議室A

議 題：1 研修会開催方法について
2 プログラム内容について
3 スケジュールについて

研修会

モデレーター：岸 正人（公社）全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長
草加 叔也（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
柴田 英杞（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
水戸 雅彦（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター
本杉 省三（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
矢作 勝義（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

申込者：1,721名

閲覧数延べ：4,126名、6,652回

プログラム

【特別企画】 コロナ禍から再生に向けて

〔講師〕野村 萬斎（狂言師・（公社）全国公立文化施設協会 会長）

〔モデレーター〕高萩 宏（（公社）全国公立文化施設協会 常務理事）

令和3年6月、全国公立文化施設協会の会長に野村萬斎氏が新たに就任いたしました。狂言師として、数多くの狂言・能の公演で全国各地の公立文化施設を巡られた経験と2002年より20年近くに渡り世田谷パブリックシアターの芸術監督を務め、また2021年からは石川県立音楽堂の邦楽監督も務めるなど、劇場の自主公演や運営にも携わった経験をもたれています。

全国の劇場・音楽堂等は新型コロナウイルス感染症により、施設の一時閉館や自主公演の中止、貸館のキャンセル等により、これまでにない厳しい環境に置かれています。このような状況の中で、表現者としての想いや、芸術・文化の意義、劇場・音楽堂等が地域に向けて果たすべき役割などお話いただきます。

【人材養成講座】 第1章 文化政策と劇場・音楽堂等

第2章 劇場・音楽堂等の事業、危機管理とリスク対応

〔講師〕柴田 英杞（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー）

間瀬 勝一（（公財）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー）

我々が日々仕事を進めるためには「研修する」「勉強する」ことによって課題を遂行しています。一定の目的を果たすためには、必要なスキルを身に着ける必要があると言われていています。一般的に「スキル」とは「知識」「技能」「経験」「資格」つまり仕事に対応する能力といわれていますが、私達の仕事の遂行には不十分で、ものの見方や感じ方、考え方を学ぶことが必要だと思えます。

平成26年に「劇場・音楽堂等人材養成講座テキスト」を策定してから時が過ぎました。この間「文化芸術基本法」の改訂や「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律」など、わたくしたち劇場・ホールに働くものに関連する法律等が公布され「劇場・音楽堂等」には期待が寄せられています。

この講座は劇場に就職して3年以内の職員を対象に「基礎編」としてまとめました。今回「劇場・音楽堂等の概要、使命と役割」と「事業運営の概要と危機管理」の2章構成としました。運営責任者の方をはじめ、すべての職員の方に受講していただき、劇場・音楽堂等が地域の文化拠点として運営されることを期待します。職員の皆様が全員で受

話し意見交換をする、またはグループで受講するなどの工夫をして、ご活用いただければ幸いです。

【文化政策】 ウイズコロナ下における文化芸術団体との連携に向けて

〔講師〕 福島 明夫 ((公社) 日本劇団協議会 常務理事)

桑原 浩 ((公社) 日本オーケストラ連盟 専務理事・事務局長)

〔モデレーター〕 岸 正人 ((公社) 全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長)

コロナ禍の終息が見通せないなか、公立文化施設では当面は引き続きの感染防止策を講じつつ、公演等の事業や貸館等を計画・実施せざるを得ません。そんな状況下においては、これまで以上に地域の文化団体や劇団・楽団等の芸術団体との連携が必要とされます。コロナ禍で文化施設同様に大きな打撃を受けた文化芸術団体をお招きし、「コロナ禍における文化芸術への影響調査(文化芸術推進フォーラム)」や「劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査(公文協)」の速報、文化庁令和4年度予算等を紹介しつつ、今後の対応や展開、そして連携についてともに考えます。

【管理・運営】 コロナ禍を踏まえ、将来に繋がる公立文化施設の運営と事業企画と、それを実現するための制度、組織、戦略について

〔講師〕 石田 麻子 (昭和音楽大学教授)

〔モデレーター〕 矢作 勝義 (穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術文化プロデューサー)

様々な課題が浮き彫りになった現代社会において、新型コロナウイルス感染症が終息した先に劇場運営はどのようにあるべきか。また、その運営を達成するために必要な劇場事業とは何か。イギリスなどの海外の事例も参考にしながら今日的な課題・要請と地域的な課題・要請の両方の側面から考える。そして、それらを実現するために、制度(助成・寄付・チケット等資金調達)、組織(専門人材の育成・雇用)、戦略(目標)といった観点から何が必要かを検討する。

【管理・運営】 劇場・ホールの換気・空調設備について

〔講師〕 奥田 知明 (慶應義塾大学理工学部応用化学科教授)

金澤 隆司 ((株) 梓設計 顧問(非常勤)元(株)柳澤孝彦+TAK 建築研究所 代表取締役)

吉川 佳江 ((株) 梓設計 エンジニアリング部門機械システム部)

〔モデレーター〕 本杉 省三 (劇場計画研究者 工学博士・日本大学名誉教授)

建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)によって、室内環境の衛生的向上が図られてきたと言われてはいますが、一方で基準値に満たない建築物がまだ多くあることも指摘されています。そうした中、コロナ問題が重なり、劇場やホールにおける空調・換気設備などによるコロナ飛沫感染リスクを心配されている方も少なくないと思います。新国立劇場ではいち早く舞台・客席内並びに各リハーサル室における換気状況の現状把握のための調査を実施しています。調査を実施された粒子計測に関する専門家奥田知明教授からその内容を報告してもらいます。また、同劇場建築設備設計者でサントミュージゼ上田並びにフェニーチェ堺も設計された金澤隆司氏・吉川佳江氏(サントミュージゼ上田の建築設備設計担当)から劇場・ホールにおける空調・換気設備の考え方を聞くことで、施設設置者・管理者が留意すべき事柄について考えてみたいと思います。

【事業企画】 障害者文化芸術活動の推進に向けて踏み出す初めの一步～障害を越えて、共感、共生に向かうために～

〔講師〕 中島 諒人（鳥の劇場 芸術監督）

柴崎 由美子（NPO 法人エイブル・アート・ジャパン代表理事・事務局長）

〔モデレーター〕 水戸 雅彦（えずこホール（仙南芸術文化センター）前館長）

令和2年度に実施した「障害者文化芸術活動推進に向けた劇場・音楽堂等取組状況調」によると、「障害者を対象とした自主事業を実施していない」86.5%。その理由は「どのような事業を実施したらいいかわからない」41.7%、「実施するための知識のある人材がない」40.1%となっています。社会の構成員である障害者、社会的弱者。共に生きる仲間として共感し、共生へ向かう意識を醸成していくための初めの一步をどこから始めたらいいのか。

地域に根指し多岐にわたる活動を展開し、障害者と健常者が協働して作り上げる舞台製作を続ける鳥の劇場の芸術監督中島諒人氏と、障害者とアートと市民を繋ぐ先駆的な事業を展開し続ける NPO 法人エイブル・アート・ジャパン代表理事の柴崎由美子氏を講師に迎え共に考えます。

【管理・運営】 劇場・音楽堂等職員の労務管理を考える

〔講師〕 堀内 真人（KAAT 神奈川芸術劇場 事業部長兼技術監督）

松下 洋章（世田谷文化生活情報センター 副館長）

内藤 美奈子（東京芸術劇場 事業企画 課長）

〔モデレーター〕 草加 叔也（(公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー）

舞台芸術作品を制作する劇場の現場では、職員の労務管理への対策が喫急の課題となっている。中でも労働時間の管理は、舞台芸術作品を創造する現場を抱える劇場にとって看過できない状況になることが顕在化してきて始めている。もちろん、全ての課題を解決できる手法や手続きが確立されるに至っているわけではないが、努力や試行錯誤が積み重ねられてきている。今回のアートマネジメント研修会では、創造現場における労務管理の課題解決に向けた具体的試みについて考えていきたい。

【事業企画】 事業が目的化しない企画立案の方法—優秀事例から学ぶ—

〔講師〕 糸日谷 智孝（(公財)千葉県文化振興財団 文化振興グループ長 千葉県少年少女オーケストラ運営グループ長）

藤田 千史（川崎市アートセンター アルテリオ小劇場ディレクター）

〔モデレーター〕 柴田 英杞（(公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー）

ミッションの重要性が叫ばれて20年が経ちます。ミッションとは、寄付行為の目的にある抽象的な文言を超えて、国民にわかりやすく伝える我々の行動規範であり、公立劇場の社会的な存在意義を示すものです。

従って、事業企画は、自らの劇場ミッションを達成するためにあるということを改めて考えてほしいという講座です。

明確なミッションのもとに目標を設定し事業推進している千葉県と川崎市の取組を紹介し、その事例に学びます。事業が独り歩きして目的化していませんか？

令和2年度全国アートマネジメント研修会プログラム再配信

【事業企画】劇場・音楽堂からのオンライン配信の試みと今後の可能性

- [講師] 山中 隆 ((公財) びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 理事長 兼 館長)
竹内 淳 ((公財) 川崎市文化財団 ミューザ川崎シンフォニーホール 事業部長)
山川 愛 ((公財) かすが市民文化財団 広報コミュニケーショングループ マネジャー)
[モデレーター] 草加 叔也 ((公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー)

【事業企画】舞台芸術のデジタルアーカイブ化の意義と著作権上の課題

- [講師] 福井 健策 (骨董通り法律事務所 代表パートナー)
[モデレーター] 太下 義之 (文化政策研究者・同志社大学教授)

【文化政策】文化ホールの現場から問い直す自治体文化政策－財団、指定管理者の視点から－

- [講師] 砂田 和道 (くらしに音楽プロジェクト 事務局長)
[講師・モデレーター] 中川 幾郎 (帝塚山大学名誉教授)

【管理・運営】公立文化施設で必要とされる契約

- [講師] 望月 賢司 (望月賢司法律事務所 弁護士)
[モデレーター] 矢作 勝義 ((公財) 豊橋文化振興財団 芸術文化プロデューサー)

【文化政策】法の制定と文化施設の役割を考える

- －「令和2年度障害者文化芸術活動推進に向けた劇場・音楽堂等取組状況調査」結果から－
[講師] 大澤 寅雄 ((株) ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 主任研究員)
岸本 匡史 ((公財) としま未来文化財団 事業本部 としま区民センター・野外劇場運営課長)
[モデレーター] 間瀬 勝一 ((公社) 全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー)

【管理・運営】新型コロナウイルス感染拡大長期化に於ける文化施設の今後

- [講師] 本間 基照 (MS&AD インターリスク総研 (株) リスクマネジメント第一部 災害リスクグループ
マネジャー 上席コンサルタント)
橋本 恭一 (福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」 事業部長・プロデューサー)
[モデレーター] 岸 正人 ((公社) 全国公立文化施設協会 事務局次長)

【事業企画】公立劇場と民間劇場等との連携を通じたダンス公演の可能性を考える

- [講師] 唐津 絵理 (愛知県芸術劇場 シニアプロデューサー・Dance Base Yokohama アーティスティックディ
レクター)
林 慶一 (d-倉庫プロデューサー)
[モデレーター] 木全 義男 ((公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー)

【事業企画】感染症との共生を超えて－公立劇場と芸術団体の取組から－

- [講師] 福島 明夫 ((公社) 日本芸能実演家団体協議会 常務理事)
大久保 充代 ((公財) 八尾市文化振興事業団 業務執行理事 八尾市文化会館プリズムホール 館長)
[モデレーター] 柴田 英紀 ((公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー)
-
-

報告書

ホームページに掲載

<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

参加者アンケート（一部抜粋）

- ・ホール側の者として、芸術団体に何が求められ何を提供できるのか考えるヒントをいただけた。芸術家団体がコロナ禍で苦しむ中、苦境は認識しつつも直接、生の声を受け取る機会がなかったので、そういった機会を設けられたらもっと具体的な支援策や環境整備ができたのかと思った。関係者での協働を深めたい。
- ・「ミッション・ビジョン」について根本的に考える機会がなかった。今日の講義でお示しいただいた、これを組織全体で共有する、という点がこれまでかけていたかもしれない。制作スタッフだけでなく、総務部門も一丸となって事業を担う、というのはまさにあるべき姿だと思う。
- ・専門性のある話であったが、今後避けては通れないもの、個人的にもとても関心がある事であり、ためになった。計測することなどは積極的に取り入れていけるように促したい。
- ・今年度から障がいのある方たちとダンスを通して触れ合うワークショップを始めた。私が揺れ動き、日々悩んでいること、考えていることについて、お話を伺うことができ励まされた。
- ・講師の各施設の労務管理における課題や現状、労働時間管理の具体的な方法を詳細に教えていただき、自身が属する組織での労務管理の状況を客観的に見直すことができた。労務管理において改めて気を付けるべきポイントを整理することもできた。
- ・具体的な取り組みの事例を伺うことができ、参考になった。「ミッション」「ビジョン」と事業の連関という点と、スタッフ間のコミュニケーションの大切さ（とくに世代間の交流という点では人材育成にもかかわってくると）を感じた。
- ・会場での研修は伝わりやすい、その場で意見を言いやすいという利点があるが、参加者の移動や業務との調整など負担がある。今後の感染症の状況にもよるが、会場（できれば東京だけでなく、各地区や各県で）とオンラインのバランスを取っていただけると助かる。

全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

事業の目的

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的とした舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の獲得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

対象

劇場・音楽堂等の舞台技術管理者及び舞台技術管理責任者または舞台技術担当職員、文化行政主管部局の舞台技術担当職員、劇場・音楽堂等関係者、その他舞台技術関係者、舞台技術に関心のある者 等

開催日

令和3年12月20日（月）～12月22日（水）

会場

新国立劇場 中劇場（東京都渋谷区本町1丁目1番1号）

募集期間

令和3年11月15日（月）～12月15日（水）

実施内容

企画委員：草加 叔也（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー
矢野 森一 舞台監督

企画会議（第1回）

開催日時：令和3年9月17日（金）17：00～18：30

開催場所：新国立劇場 3階 技術部会議室

議 題：令和3年度研修会の実施について

企画会議（第2回）

開催日時：令和3年10月11日（月）13：00～14：30

開催場所：新国立劇場 5階 会議室

議 題：1 研修会開催方法について

2 プログラム内容について

3 スケジュールについて

企画会議（第3回）

開催日時：令和3年11月15日（月）10：30～12：00

開催場所：新国立劇場 3階 技術部会議室

議 題：1 プログラム内容について

2 スケジュールについて

研修会

モデレーター：草加 叔也（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー

矢野 森一 舞台監督

講師：澁谷 壽久 舞台監督

竹内 章子 講座補助

南部 充央（一社）日本障害者舞台芸術協働機構 代表理事

濱 照男 新国立劇場 技術部長

小西 弘人 新国立劇場 技術部 技術統括室長

櫻井 拓朗 新国立劇場 技術部 舞台課長

上田 好生 新国立劇場 技術部 音響課長

立田 雄士 新国立劇場 技術部 照明課長

参加者：69名

プログラム

【プログラム1】仕込／新国立劇場（中劇場）の舞台演出設備

プログラム2～4のための仕込とその解説を行う。ヘルメット・ハーネス着用等、安全管理に係る説明もなされる。新国立劇場の舞台機構・設備の紹介及びバックステージツアーを行い、参加者にとって自館以外を見学する機会を設けた。

【プログラム2】スモークマシンの選択と効果

数種類のスモーク（①コンセプト②バイパー③ディフュージョン④ユニーク⑤タイニーフォガー⑥ファン（スモーク拡散用））を用い、比較検証を行う。スモークの種類と効果、形状比較、出方の比較を行う。合わせて、舞台上の火気使用における「禁止行為解除申請」についても解説がなされた。

【プログラム3】幕設備の違いと投影効果

プロジェクターを用い、帆布・別珍など複数の幕設備に照射・投影を行うことへの効果を検証。

【プログラム4】舞台技術者がインクルーシブシアターを考える

インクルーシブな劇場となるためのインフラの一つ、鑑賞を支援するサービス（鑑賞サー

ビス) について、「多言語型タブレット字幕システム」「遠隔字幕」「遠隔音声ガイド」の体験や映像を紹介。

舞台技術者との関わりや、終盤には舞台技術者だから出来ることについて南部氏と草加氏による対談がなされた。

報告書

ホームページに掲載

<https://www.zenkoubun.jp/training/technic.html>

参加者アンケート（全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会アンケートより）

- ・ スモークマシンの種類によっての使用方法などわかりやすかった。禁止行為解除申請もとても参考になりました。
- ・ トライ＆エラーをためせてよかったです。スモークや映像の新しい技術・ユニバーサルデザイン等、全体の意識を共有しなければいけないことを共有できてよかったです。
- ・ インクルーシブシアターについて、大変興味深く勉強になりました。
- ・ さまざまなスモークマシン・幕・最新の機材を見る事ができて、来れてよかったと思いました。
- ・ 普段見ることのない、他の劇場を拝見させて頂き、とても楽しく学ぶことができました。参考にできる部分はしていきたいなと思いました。障がいをもった方にも劇場に来てほしいと考えていた中で、プログラム4は大変興味深かったです。どう取り入れるかが課題ですが、取りくみたいと思いました。
- ・ 舞台機構や仕込みの様子を見るのは初めてで、様々な発見がありました。また、実験的に幕の種類の違い、プロジェクターの違い、スモークマシンについて知ることができ、特性を一目瞭然と比較できてとても有意義な時間でした。字幕や音声ガイドなどの技術や、考え方を知ることができて大きな学びとなりました。
- ・ 劇場の施設内部まで見せていただいただけで充分満足でした。その上、一つ一つのカリキュラムを丁寧に進行して下さいありがとうございます。自分達の劇場でも色々な事を試していたりはするのですが、時間も人もとれずに出来ない事も多いので、どんな些細な事でもこういう場を設けてくれると有難いです。
- ・ なかなかできない実験的なことを見ることができてよかったです。スモークマシンを並べてみることもないことで、スクリーン・幕も素材によって違いを感じられて楽しかったです。新国立劇場の機構も見せていただき、貴重な経験ができました。

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会

事業の目的

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図る。

- ①アートマネジメント研修会各地域において、劇場・音楽堂等の優れた自主事業等を企画する能力、管理運営能力の養成を図るため、劇場・音楽堂等の職員等を対象とした研修会を実施する。
- ②舞台技術研修会各地域において、劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識や技術の習得を図るため、舞台技術者を対象とした舞台技術研修会を実施する。

対象者

- ①劇場・音楽堂等に勤務する職員（指定管理者及び劇場・音楽堂等の管理・運営業務等を受託している企業等からの派遣職員も含む）
- ②地方自治体の文化芸術行政担当職員及び劇場・音楽堂等施設関係者
- ③民間の舞台技術関係者、大学等の高等教育機関・舞台技術やアートマネジメントの教育関係者・学生等、また関心のある市民等。

実施日数

原則1日以上

実施一覧

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

地域名	開催日	会場	参加者数
※北海道	令和3年11月9日(火)	北海道立道民活動センター (かでの2・7)	28名 19施設
東北	令和3年12月7日(火)～8日(水)	マルホンまきあーとテラス (石巻市複合文化施設)	56名 31施設
関東甲信越静岡	令和3年12月2日(木)	新潟市音楽文化会館	82名 43施設
東海北陸	中止		-名 -施設
※近畿	令和4年2月9日(木)	兵庫県立芸術文化センター	36名 13施設
中四国	令和3年12月9日(木)～10日(金)	香川県民ホール(レクザムホール)	59名 35施設
九州	令和3年10月27日(水)～28日(木)	iichiko 総合文化センター	60名 29施設

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

地域名	開催日	会場	参加者数
※北海道	令和3年11月9日(火)	北海道立道民活動センター (かでの2・7)	28名 19施設
東北	令和4年3月4日(金)	オンライン開催	43名 23施設
関東甲信越静岡	令和4年2月9日(水)～17日(木)	オンライン開催	145名 85施設
東海北陸	令和4年1月26日(水)～27日(木)	名古屋市芸術創造センター	26名 13施設
※近畿	令和4年2月9日(木)	兵庫県立芸術文化センター	36名 13施設
中四国	令和4年1月13日(木)～14日(金)	美馬市地域交流センター (ミライズ)	29名 16施設
九州	令和3年12月21日(火)～22日(水)	佐賀市文化会館	56名 27施設

※アートマネジメント・舞台技術合同研修会

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・技術研修会 北海道

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・技術研修会（北海道地域）
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。 ・劇場・音楽堂等の職員を対象として、施設の管理運営を行う上で直面している課題について専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。 ・劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和3年11月9日（火）
会場	北海道立道民活動センター（かでの2・7）
問合せ先 (事務局担当施設)	北海道立道民活動センター（かでの2・7）
参加人数	28名（参加施設19施設）

研修内容

	日時	内容	講師等
11/9 (火)	9:50～10:00	開講式	
	10:00～12:00	講義1 かでのホールでのライブ配信事業 事例発表	(一財)道民活動振興センター 業務課長 大野 賢次氏 業務課主事 茶谷 和馬氏
	12:00～13:00	休憩	
	13:00～15:50	講義2 ・新型コロナ禍でのホールの運営とアフターコロナに向けた取組について ・劇場・音楽堂等の業務について	あさひサンライズホール 館長兼芸術監督 漢 幸雄氏
	15:50～16:00	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 東北

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（東北地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和3年12月7日（火）～12月8日（水）
会場	マルホンまきあーとテラス（石巻市複合文化施設）
問合せ先 （事務局担当施設）	えずこホール（仙南芸術文化センター）
参加人数	56名（参加施設31施設 その他）

研修内容

	日時	内容	講師等
12/7 （火）	13:30～15:00	「鳥の劇場の取り組み」（事例紹介）	鳥の劇場芸術監督 中島 諒人氏 （総合モデレーター） えずこホール前館長 水戸 雅彦氏
	15:00～15:15	休 憩	
	15:15～16:30	グループワーク テーマ：企画事業、ワークショップ、 アウトリーチ、住民参加事業、 指定管理、社会包括事業	中島 諒人氏 水戸 雅彦氏 栗田 政弘氏 新田 裕子氏 ほか
	16:30～17:00	グループワークのまとめ	
12/8 （水）	9:00～10:00	グループワーク発表 質疑応答	中島 諒人氏 水戸 雅彦氏
	10:00～11:00	総括	
	11:15～12:00	施設見学	まきあーとスタッフ
	12:00	終了	

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 関東甲信越静

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（関東甲信越静地域）
趣旨	「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」及び同指針に基づき、研修プログラムを作成し、劇場・音楽堂等の企画力、想像力、運営能力、技術の強化や、職員の自発的な研鑽と自己啓発を促すため、若手職員等を対象とした研修会を行う。また、地域職員の交流を深め、相互のネットワーク形成及び情報交換の場とすることを目的とする。
開催期間	令和3年12月2日（木）
会場	新潟市音楽文化会館
問合せ先 (事務局担当施設)	新潟県民会館
参加人数	82名（参加施設43施設）

研修内容

	日時	内容	講師等
12/2 (木)	13:30	開講式	
	13:40～14:50	講義1 持続可能な公立文化施設（劇場・音楽堂）の経営～地域における文化芸術振興の中核的役割を担うために～	（公財）新潟市芸術文化振興財団 アーツカウンシル新潟 プログラムディレクター 杉浦 幹男氏
		質疑応答	
	14:50～15:05	休憩	
	15:05～16:15	講義2 公共ホールに求められるアウトリーチ～新潟市における、地域の音楽家と地域のホールの新しい関係～	（公財）新潟市芸術文化振興財団 りゅーとぴあ 事業企画部次長 榎本 広樹氏
		質疑応答	
16:15	閉講式		

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 近畿

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・技術研修会（近畿地域）
趣旨	近畿地域の公立文化施設の職員等を対象として、アートマネジメント能力と技術能力の向上に関する専門的な研修を行い、地域の文化芸術の振興と公立文化施設の活性化に資することを目的とする。
開催期間	令和4年2月9日（水）
会場	兵庫県立芸術文化センター
問合せ先 （事務局担当施設）	奈良県橿原文化会館
参加人数	36名（参加施設13施設）

研修内容

日時	内容	講師等	
2/9 （水）	10:20～10:30	開会	
	10:30～11:30	講義Ⅰ SNSの基礎と現在未来のメタバース	KAHUA（かふあ）氏
	11:30～11:40	休憩	
	11:40～12:40	講義Ⅱ 生命線としてのSNS、私たちの期待と活用方法	KAHUA（かふあ）氏
	12:40～13:40	休憩	
	13:40～15:00	講義Ⅲ （講師3名による鼎談） ・アナログ舞台図からバーチャルへ ・3D舞台図など多様に変化 ・バーチャル総称であるXRのAR紹介	KAHUA（かふあ）氏 （公社）全国公立文化施設協会 近畿支部アドバイザー 山形 裕久氏 舞台美術家 滝 善光氏
	15:00～15:40	講義1、2、3の質疑応答	
	15:40～15:50	休憩	
	15:50～16:50	講義Ⅳ コロナ感染症の最新情報と対応	兵庫県立芸術文化センター 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザー 吉田 友昭氏
16:50～17:00	閉会		

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 中四国

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（中四国地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和3年12月9日（木）～12月10日（金）
会場	香川県県民ホール（レクザムホール）
問合せ先 （事務局担当施設）	香川県県民ホール
参加人数	59名（参加施設35施設）

研修内容

	日時	内容	講師等
12/9 （木）	14:00～14:10	開講式	
	14:10～15:40	講義Ⅰ after コロナに向けた対策と劇場の新たな付加価値	岡山創造芸術劇場 劇場長 草加 叔也氏
	15:40～16:00	休 憩	
	16:00～17:30	講義Ⅱ 地産文化芸術による地方創生及び展開	（一社）瀬戸内サーカスファクトリー 代表理事 田中 未知子氏
12/10 （金）	9:15～10:00	（移動）	
	10:00～11:15	講義Ⅲ & 施設見学 世界的彫刻家 流 政之 アーティスト流政之の生涯哲学、美学、作品見学	（公財）流財団 代表 香美 佐知子氏 ほか 講師2名
	11:15～12:00	（移動）	
	12:00～12:10	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 九州

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（九州地域）
趣旨	昨年春からコロナ禍により、劇場やホールなどの文化施設は一時、事業休止に追い込まれました。引いては押し寄せる感染の波に翻弄されながらも、様々なアイデアとネット配信をはじめとするテクノロジーの活用などにより、幅広い地域住民を巻き込む活動を展開する動きが、この九州沖縄地区の各地に見られます。この研修会では、スタッフらの創意で新たな創客を試みる新たな動きとその意義を学び、併せて、実践にあたるスタッフ自身が経験した困難や失敗、そして喜びを出席者と分かち合い、コロナ後、或いはコロナ共生時代の「感動拡大」に求められる発想やセンス、スキルについて考えます。
開催期間	令和3年10月27日（水）～10月28日（木）
会場	iichiko 総合文化センター
問合せ先 (事務局担当施設)	那覇市パレット市民劇場
参加人数	60名（参加施設29施設）

研修内容

	日時	内容	講師等
10/27 (木)	13:00～13:15	開講式	
	13:15～14:25	シリーズ講義「広がる」劇場プログラム① 「“越境”強めるアウトリーチ」	公立大学法人沖縄県立芸術大学 沖縄音楽文化コース 教授 谷本 裕氏
	14:25～14:30	休憩	
	14:30～15:40	シリーズ講義「広がる」劇場プログラム② 「ケンゲキオンラインスクール～音楽を聴こう知ろう～」コロナ禍における事業取組	(公財)熊本県立芸術劇場 事業グループ長 佐藤 奈々絵氏
	15:40～15:45	休憩	
	15:45～16:55	シリーズ講義「広がる」劇場プログラム③ 「地域を巻き込んで文化施設の可能性を広げる」	長崎市チトセピアホール館長 出口 亮太氏
10/28 (木)	9:15～10:15	～現場が生きる劇場法～事例報告 令和2年度 那覇市パレット市民劇場自主 事業「太鼓で遊ぼう！ウチナー音でちむど んどん♪♪」	那覇市パレット市民劇場 事務局長 濱田 祥子氏
	10:20～11:30	～現場が生きる劇場法～ 【トークセッション】	司会進行：谷本 裕氏 パネリスト：出口 亮太氏 佐藤 奈々絵氏 濱田 祥子氏
	11:30～11:45	質疑応答	
	11:45	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 東北

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（東北地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年3月4日（金）
会場	オンライン [ほくしか鹿鳴ホール（大館市民文化会館）]
問合せ先 (事務局担当施設)	ほくしか鹿鳴ホール（大館市民文化会館）
参加人数	43名（参加施設23施設）

研修内容

日時	内容	講師等
13:00～13:05	開会・あいさつ	
13:05～14:15	<p>講義Ⅰ「安全管理セミナー～フルハーネス～」</p> <p>①フルハーネスの基礎知識 高所作業におけるフルハーネスの構造や種類、役割について</p> <p>②フルハーネス関連法令 関連法令について フルハーネス着用の条件や、事故時の法的責任等について</p> <p>③労働災害 事故の具体例、未然の事故防止、事故発生時の対応等について</p>	（公財）びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 舞台技術部 照明アドバイザー 葛西 健一氏
14:15～15:15	<p>講義Ⅱ「安全講習（実技）」</p> <p>高所作業に関する現状の機材運用方法と更新状況の説明。 設備の問題点や劇場で行っている工夫について。</p>	（公財）びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 舞台技術部 部長代理 押谷 征仁氏 舞台技術部 照明アドバイザー 葛西 健一氏 舞台技術部 舞台機構チーフ 藪内 暖氏 舞台技術部 舞台音響・映像 丹後 明洋氏 京滋舞台芸術事業協同組合 舞台音響・映像チーフ 迫田 昌宏氏 舞台照明チーフ 小川 順也氏
15:15～16:15	質疑応答	押谷 征仁氏 葛西 健一氏

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 関東甲信越静

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（関東甲信越静地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年2月9日（水）～2月17日（木）
会場	オンライン研修（録画配信）
問合せ先 （事務局担当施設）	彩の国さいたま芸術劇場
参加人数	145名（参加施設85施設）

研修内容

配信日	内容	講師等
2/9（水） ～ 2/17（木）	講義Ⅰ 劇場からの動画配信 ～びわ湖ホールの事例をもとに～	（公財）びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 総括プロデューサー・舞台技術部長 館脇 昭氏 （公財）びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 舞台技術部 部長代理 押谷 征仁氏
	講義Ⅱ 劇場における配信とネットワーク技術	（株）長工務店 代表取締役 長 将司氏
	講義Ⅲ ゼロから始める配信の考え方	Itodesign 事務所代表 アートディレクター 伊藤 修嗣氏
	パネルディスカッション	

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 東海北陸

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（東海北陸地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図る。 舞台技術研修会については、各地域において、劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識や技術の習得を図るため、舞台技術者を対象とした舞台技術研修会を実施する。
開催期間	令和4年1月26日（水）～27日（木）
会場	名古屋市芸術創造センター ホール
問合せ先 (事務局担当施設)	愛知県芸術劇場
参加人数	26名（参加施設13施設）

研修内容

	日時	内容	講師等
1/26 (水)	13:20～13:30	開講式	
	13:30～15:00	研修会Ⅰ パネルディスカッション LED 機材導入にあたって	パネリスト： 東京文化会館舞台管理担当係 乳原 一美氏 (丸茂電機(株)名古屋営業所) (東芝ライテック(株)) (パナソニックLSエンジニアリング) (株)松村電機製作所 司会： 名古屋市西文化小劇場 館長 河原 裕輝氏
	15:00～15:10	休憩	
		《支部研修会》	
	17:10～17:30	施設見学会	
1/27 (木)	10:00～10:30	受付	
	10:30～11:30	研修会Ⅲ 実技Ⅰ 参加者でスポットライト等の仕込み	
	11:30～12:30	休憩	乳原 一美氏
	12:30～14:50	研修会Ⅳ 実技Ⅱ シュート・調光の検証	
	14:50～15:20	撤収作業	
	15:20～15:30	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 中四国

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（中四国地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年1月13日（木）～1月14日（金）
会場	美馬市地域交流センター（ミライズ）
問合せ先 （事務局担当施設）	あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）
参加人数	29名（参加施設16施設）

研修内容

日時	内容	講師等	
1/13 （木）	14:00～14:10	開講式	
	14:10～15:40	講義Ⅰ〈照明〉 ホール照明設備の活用方法	（有）プラム 西 泰幸氏
	15:40～15:50	休 憩	
	15:50～16:20	講義Ⅱ 映像機器及び音響・照明機材の展示説明	各展示企業担当者
	16:20～16:30	休 憩	
	16:30～18:00	講義Ⅲ〈音響〉 マイクロフォンセミナー 基礎編 ～知っておきたい仕組みと違い～	ゼンハイザージャパン（株） 藤井 宏幸氏
	18:00～18:10	休 憩	
	18:10～19:10	講義Ⅳ〈映像〉 配信に関する基礎知識と今後の展望について	ヒビノスペーステック（株） 庄 健治氏 （株）テクノハウス 小宮 新平氏
1/14 （金）	10:00～11:30	講義Ⅴ〈舞台機構〉 舞台機構の技術進歩と導入事例にみる今後の展望	森平舞台機構（株）技術部 技師 長原 邦彦氏
	11:30～11:50	閉講式	

地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 九州

実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（九州地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和3年12月21日（火）～12月22日（水）
会場	佐賀市文化会館
問合せ先 （事務局担当施設）	熊本県立劇場
参加人数	56名（参加施設27施設）

研修内容

日時		内容	講師等
12/21 （火）	13:30～13:40	開講式	さいばーとれいん 代表 齊場 俊之氏
	13:40～15:10	セミナー① コロナ禍において新たに試みられていること	
	15:10～15:25	休憩	
	15:25～16:55	セミナー② 映像配信における課題	
	16:55～17:30	質問・情報交換	
12/22 （水）	9:30～10:35	セミナー③ 映像配信作業を体験するⅠ	齊場 俊之氏 ほか
	10:35～10:45	休憩	
	10:45～11:45	セミナー④ 映像配信作業を体験するⅡ	
	11:45～12:00	閉講式	

IV 参考資料

基盤整備事業一覧

支援員の派遣による支援募集要項

令和3年度「劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査」調査票

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会募集要項

全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会募集要項

令和 3 年度 文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

事業			概要	
I 情報提供事業	(1) 芸術文化情報提供事業	①劇場、音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集提供	(a) 資料等の収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・劇場・音楽堂等や文化芸術に関する情報、資料を収集し、これまでに蓄積した情報とともに体系的に整理して、わかりやすい内容や方法で希望者に提供する
				<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報提供
				<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンの発行
		(b) 専門人材（コーディネーター）の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の専門人材に登録を依頼し、ホームページに公開（継続登録の人材についても、情報内容の更新を行う） 	
	②劇場、音楽堂等への芸術文化活動支援	(a) 支援員の派遣による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言を行う専門家を派遣 ・派遣方法 <ul style="list-style-type: none"> ①館派遣型 ②地域派遣型 ・派遣回数：1 団体 3 回まで 	
		(b) 日常相談業務対応	<ul style="list-style-type: none"> ・電話、メール、FAX 等による相談受付 ・来所による相談受付 ・主な相談内容を「よくある相談」としてホームページに掲載 	
	(2) 劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成 24 年法律第 49 号）」施行以降の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場、音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場、音楽堂等の振興に係る諸施策に資する。 		

実施状況	委員等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報プラザの拡充 ・ 全国公立文化施設検索の充実 等 ・ 劇場・音楽堂等 個別施設計画策定推進サポート事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度実施 オンラインセミナー再配信 R3.10.1～10.29 令和3年度 劇場・音楽堂等個別施設計画策定推進個別相談会 R3.10.11～10.29 相談実施件数：2件 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間アクセス数 630,468件 (R4.2.24 現在) ・ 主な掲載内容 FAQ、研修会等の開催案内、助成金情報、文化政策・制度 文化施設検索 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第119号 (R3.7.15)～第127号 (R4.3.15) ・ 臨時号 (R3.11.1、R4.2.22) ・ 発送数：4,800通 /1回 (平均) ・ 主な掲載内容 研修会開催案内、国等の文化芸術施策に関する情報、助成金情報、 調査研究報告、コラム等 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者数：アドバイザー 10名 コーディネーター 64名 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集期間：R3.6.15～7.5 ・ 実施期間：R3.8.1～R4.1.15 (2.25) ・ 審査会：R3.7.14 ・ 申込件数：32件 70回 ・ 派遣決定件数：32件 72回 ・ 実施件数：30件 62回 ・ 派遣支援員数：26名 	<p>審査会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太下義之((公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー) ・ 酒井誠((公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー) ・ 渡辺日佐夫((公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施期間：R3.6.24～R4.3.31 ・ 相談対応件数：72件 (R4.2.24 現在) 来所による相談 2件 オンラインによる相談 3件 電話・FAX・電子メールによる相談 69件 	<p>相談対応者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (公社)全国公立文化施設協会事務局 ・ (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー・コーディネーター ・ 各種専門家、団体、等
<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査 ・ 調査項目：1. 施設の基本情報 2. 職員等の状況 3. 施設運営費 4. 施設の利用状況 5. 事業の実施状況 6. その他の影響と今後について ・ 調査期間：R3.10.18～11.17 ・ 調査対象：国公立施設 2,142施設 ・ 回答数(回答率)：1,349施設 (62.98%) ・ 有識者会議：R4.1.21 ・ 報告書発行：R4.3 	<p>有識者会議委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 片山泰輔((公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター) ・ 大久保充代((公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター)

事業		概要
Ⅱ 研修・交流事業	①全国アートマネジメント研修会	・アートマネジメントと舞台技術に関する専門的研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援
	②全国舞台技術研修会	・劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的とした舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の獲得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。
	①地域別アートマネジメント研修会	・劇場・音楽堂等の企画力、創造力、運営能力、技術の強化や、職員の自発的な研鑽と自己啓発を促すため、若手職員等を対象とした研修会を行う。また、地域職員の交流を深め、相互のネットワーク形成及び情報交換の場とする
	②地域別舞台技術研修会	
Ⅲ 事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・ I 及びⅡの事業評価を行う ・ 自己評価及び外部評価委員を委嘱し、評価を行う

実施状況	委員等
<ul style="list-style-type: none"> ・企画会議：第1回 R3.7.2 第2回 R3.8.6 ・開催期間：R4.1.11～2.28 ライブ配信：R4.1.12～14 ライブ再配信：R4.2.21～28 ・収録：R3.12.6（品川動画配信スタジオ） R3.12.14（世田谷パブリックシアター） ・プログラム数：17 オンデマンドプログラム：3プログラム 特別プログラム：野村萬斎「コロナ禍から再生にむけて」 人材養成講座（第1章・第2章） ライブ配信プログラム：6プログラム R2年度配信プログラム：8プログラム ・視聴申込者数：1,721名 ・視聴回数（延べ）：6,652回 	<p>企画委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草加叔也（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・柴田英杞（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・水戸雅彦（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター） ・矢作勝義（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター） <p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸正人（（公社）全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長） ・草加叔也（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・柴田英杞（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・水戸雅彦（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター） ・本杉省三（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・矢作勝義（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）
<ul style="list-style-type: none"> ・企画会議：第1回 R3.9.17 第2回 R3.10.11 第3回 R3.11.15 ・開催期間：R3.12.20～22 ・会場：新国立劇場 中劇場 ・プログラム プログラム1：仕込／新国立劇場(中劇場)の舞台演出設備 プログラム2：スモークマシンの選択と効果 プログラム3：幕設備の違いと投影効果 プログラム4：舞台技術者がインクルーシブシアターを考える ・参加者数：69名 	<p>企画委員兼モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草加叔也（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・矢野森一（舞台監督）
<ul style="list-style-type: none"> ・全国6地域で開催 ・開催期間：R3.10～R4.2 ・実施地域・日程・会場・参加者数 北海道：R3.11.9 北海道立道民活動センター（かでの2・7）28名 ※舞台技術研修会と合同開催 東北：R3.12.7～8 マルホンまきあーとテラス（石巻市複合文化施設） 56名 関東甲信越静岡：R3.12.2 新潟市音楽文化会館 82名 近畿：R4.2.9 兵庫県立芸術文化センター 36名 ※舞台技術研修会と合同開催 中四国：R3.12.9～10 香川県民ホール（レクザムホール）59名 九州：R3.10.27～28 iichiko 総合文化センター 60名 ※東海北陸：コロナ感染症の拡大により中止 	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国7地域で開催 ・開催期間：R3.11～R4.3 ・実施地域・日程・会場・参加者数 北海道：R3.11.9 北海道立道民活動センター（かでの2・7）28名 ※アートマネジメント研修会と合同開催 東北：R4.3.4 オンライン開催 43名 関東甲信越静岡：R4.2.9～17 オンライン開催 145名 東海北陸：R4.1.26～27 名古屋市芸術創造センター 26名 近畿：R4.2.9 兵庫県立芸術文化センター 36名 ※アートマネジメント研修会と合同開催 中四国：R4.1.13～14 美馬市地域交流センター（ミライズ）29名 九州：R3.12.21～22 佐賀市文化会館 56名 	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価委員会 第1回：R3.7.19 第2回：R4.3.3 	<p>事業評価委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田麻子（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター） ・坪能克裕（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー） ・渡辺日佐夫（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）



令和3年度文化庁委託事業
「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援」
募集要項

1 主催

文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会

2 目的

劇場・音楽堂等において、実演芸術に関する活動や、劇場・音楽堂等の事業が自主的・主体的に行われるよう、自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言を行う専門家（以下、「支援員等」という）を派遣し、企画・運営力等の向上を図ることを目的とする。

3 支援内容

- ・支援内容（テーマ）は、下記「支援員等の業務」（1）～（10）に該当するものとなります。具体的内容は申込書（様式2）をご覧ください。
- ・申込者毎に各施設等の課題に対応し優先度の高い支援内容（テーマ）の項目を原則として1つに絞ってお申込みください。申込書（様式1）に記載いただいた支援内容（テーマ）を審査会で検討し決定いたしますので、様式1（1）～（3）の設問に具体的に記入をしてください。

- (1) 運営方針等に関する指導助言
- (2) 年間事業計画に関する指導助言
- (3) 個別の自主企画事業の企画制作に関する指導助言
- (4) 中期計画（3か年程度）の企画立案に関する指導助言
- (5) 劇場・音楽堂等が行う芸術文化活動（創作活動）の企画制作に関する指導助言
- (6) 施設の管理・運営に関する指導助言
- (7) 施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に関する指導助言
- (8) 劇場・音楽堂等の新設に関する指導助言（基本構想立案段階でも可）
- (9) 多言語対応、バリアフリーに関する指導助言
- (10) その他劇場・音楽堂等の活性化につながる指導助言

※なお、新型コロナウイルスに関連した感染症対策については、支援対象外とします。何卒ご了承ください。

基本的事項については、公文協ホームページ「新型コロナウイルス文化芸術関係情報」及び「劇場・音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」をご参照ください。

- 劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

https://www.zenkoubun.jp/covid_19/files/0918covid_19.pdf

- 新型コロナウイルス文化芸術関係情報

https://www.zenkoubun.jp/covid_19/index.html

4 派遣する支援員等

- ・ 劇場・音楽堂等の活動の活性化に資する文化政策、舞台芸術、管理運営、事業企画、舞台技術、施設改修等の分野に関する有識者又は専門家を派遣します。
- ・ 原則として、申込者毎に1名の派遣とします。様式1「希望支援員氏名」欄には1名のみ記載してください。審査会で支援内容により複数の支援員の派遣が望ましいと判断された場合は、複数の支援員を派遣いたします。
- ・ 同じ支援員は、同じ施設等に連続して2年まで派遣が可能です。
平成31年度、令和2年度に連続して派遣した支援員は今年度派遣ができません。

5 派遣の種類

- ①館派遣型：1施設を対象に派遣をします。
- ②地域派遣型：複数施設に対しての支援を行います（同一市内、同一県内の複数施設の支援、同一管理者の施設等）。代表施設、連絡担当者を決めてお申込みください。

6 派遣回数、時間

年間最大3回までとし、1回の支援時間は概ね4時間程度とします。

7 実施規模

延70回程度

8 実施期間

令和3年8月1日（日）～令和4年1月15日（土）

9 申込者

施設等の設置者、運営者（指定管理者等）

※ 平成30年度から令和2年度まで3年連続し当事業で支援員の派遣を行った施設等（申込団体が設置者、管理者の双方を含む）は今年度の支援の対象となりません。

10 申込期間

令和3年6月15日（火）～令和3年7月5日（月）

11 申込方法






- (1) 申込書（様式1、2）を全国公文協ホームページよりダウンロードしてください。
- (2) 申込書（様式1、2）に内容を記入し、メール（pdfファイル）でお送りください。
メールで申込みができない場合は、4ページ記載の申込先・問合せ先までご連絡ください。

※ 申込後、担当者より希望内容について確認のご連絡をする場合があります。

12 審査会

- ・学識経験者等による審査会を開催し派遣先、支援内容、実施回数等を決定します。
- ・審査会での審査により、ご希望頂いた回数の派遣や派遣そのものがない場合があります。

13 申込から実施までの流れ

- ・申込期間 令和3年6月15日(火)～令和3年7月5日(月)
※ホームページより申込書(様式1、2)をダウンロードし、メール(pdfファイル)でお送りください。

- ・審査会 令和3年7月上旬(予定)
※申込者の出席は不要です

- ・審査結果通知 令和3年7月下旬(予定)
※郵送又はメールにより、支援員名、実施回数、実施内容等を通知します。

- ・支援員等との日程調整、打合せ等 決定通知が届き次第、支援員等に連絡の上、日程、支援内容の詳細等を調整してください。
※原則申込者が支援員等へ直接連絡し、日程等調整をして頂きます。

- ・事業計画書提出 事業実施1か月前を目途にご提出ください。
(pdfファイル又は郵送)

- ・支援事業実施 令和3年8月1日(日)～令和4年1月15日(土)
 - ①旅費請求書提出 ・各支援実施2週間前迄に、ご提出ください。
(pdfファイル又は郵送)
 - ②謝金申請書提出 ・支援員事業がすべて終了後、1週間以内に、ご提出ください。
 - ③報告書提出 ・支援員事業終了後2週間以内に、ご提出ください。

14 支援員の希望について

- (1) 支援員の派遣希望がある場合
 - ・特定の支援員等を希望する場合は、申込用紙に当該支援員等への連絡の有無をご記入ください。
- (2) 特定の支援員等の派遣希望がない場合
 - ・公文協ホームページ内「専門人材情報」をご活用ください(ただし、選んでいただいた方を、必ずしも派遣できるわけではありません。ご了承ください)。
専門人材情報 <https://www.zenkoubun.jp/jinzai/index.html>
 - ・特定の支援員のご希望がない場合は、申込書、希望支援員の氏名欄に「マッチング希望」と記入してください。審査会にて希望分野の支援員等を申込者に提案します。

15 支援の対象とならない事例

- (1) 施設等の従事者の研修以外で、一般向けに行う研修・講演・シンポジウム・ワークショップの講師を依頼すること。
- (2) 公演の練習等で実技指導に従事させること。
- (3) 既に実施又は決定している施設等の事業への従事者・アドバイザー・実行委員会委員等に支援員等を充てること。
- (4) 施設等の自主企画事業・公演等の企画運営に関わる製作関係者等を支援員等に希望すること。
- (5) 平成30年度から令和2年度まで3年連続し当事業で支援員の派遣を行った施設等（申込団体が設置者、管理者の双方を含む）。

但し、令和2年度に本事業の採択があった施設等において、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ず実施中止等をした施設等については、上記に限らず、申込をすることができる。

16 新型コロナウイルスの感染症に伴う実施の方法について

今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、支援員の派遣が決定回数通りに実施できない可能性があります。その場合、実施方法（例 オンラインによる実施、等）は、申込者と事務局で協議の上決定します。

17 謝金等

謝金及び旅費については、全国公文協が規程により直接支援員等に対し支払います。

原則、申込者の立替等はありません。

ただし、規定以外の現地交通費、連絡費その他の経費が必要になった場合は、申込者に負担していただきます。

18 申込先・問合せ先

◇一部職員の在宅勤務等を実施しておりますため、可能な限りメールでのご連絡を頂けますよう、ご協力をお願い致します。

公益社団法人全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 4階

電話 03-5565-3030 FAX 03-5565-3050

E-MAIL culture@zenkoubun.jp

担当：岸・菅生・嘉山

「劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査」
調 査 票

回答者 必須	
施設ID	
施設名称	
施設所在地	
問合せ先 《回答者》	氏名
	所属
	電話番号
	メールアドレス

* 「2 職員等の状況」から「5 事業の実施状況」について、「令和2年度公立文化施設の運営情報調査報告」にご回答いただいた施設には、令和元年度の状況の数字が入力されています。ご確認ください、修正がありましたらご入力ください。

1 施設の基本情報 必須	
質問1 設置者種別 [単一回答]	1. 独立行政法人（国） 2. 都道府県 [都道府県名：] 3. 政令指定都市・特別区 [市区名：] 4. 市町村 [市町村名：] 5. 一部事務組合・自治体共同 [団体名：] 6. その他 [具体的に：]
質問2 運営形態 [単一回答]	1. 自治体等の直営 ⇒質問3 2. 指定管理者 ⇒補問2-1～2-3 3. その他 [具体的に：] ⇒質問3
補問2-1 指定管理者の種類 [単一回答]	1. 公益財団法人・一般財団法人 2. 営利法人（株式会社・合資会社等） 3. NPO法人 4. 共同企業体・2社以上の共同運営 5. その他 [具体的に：]
補問2-2 共同事業体構成 * 補問2-1で「4」を選択した方のみご記入ください	代表者団体名 [] 構成団体1 [] 構成団体2 [] 構成団体3 [] 構成団体4 [] 構成団体5 [] 構成団体6 [] 構成団体7 []
補問2-3 指定管理者の期間	開始年： [(西暦)] 年 [] 月 終了年： [(西暦)] 年 [] 月

2 職員等の状況

質問3 館長等 [単一回答]	1. あり 2. なし
質問4 芸術監督等 [単一回答]	1. あり 役職： [] 氏名 [] 役職： [] 氏名 [] 役職： [] 氏名 [] 役職： [] 氏名 [] 2. なし

質問5 全体職員数	令和2年8月1日現在	令和3年8月1日現在	
必須	人	人	

		令和2年8月1日現在	令和3年8月1日現在	
補問5-1 勤務形態別	常勤数	人	人	
	非常勤数	人	人	

補問5-2 雇用形態別	設置団体からの出向		人	人	
	直接雇用	無期	人	人	
		有期（契約・嘱託等）	人	人	
		有期（長期パート・アルバイト）	人	人	
	派遣		人	人	
	委託		人	人	
その他 [具体的に：]		人	人		

補問5-3 業種別	管理部門職員数	人	人	
	事業部門職員数	人	人	
	舞台技術部門職員数	人	人	
	その他 [具体的に：]	人	人	

3 施設運営費

質問6-1 直営またはその他施設

収入項目	令和元年度	令和2年度	支出項目	令和元年度	令和2年度
総収入	[] ,000円	[] ,000円	総支出	[] ,000円	[] ,000円
一般財源	[] ,000円	[] ,000円	自主事業費	[] ,000円	[] ,000円
事業収入（入場料等）	[] ,000円	[] ,000円	管理費	[] ,000円	[] ,000円
貸館収入	[] ,000円	[] ,000円	施設・設備管理費	[] ,000円	[] ,000円
補助金・助成金等	[] ,000円	[] ,000円	一般管理費	[] ,000円	[] ,000円
その他	[] ,000円	[] ,000円	その他	[] ,000円	[] ,000円

質問6-2 指定管理者施設

収入項目	令和元年度	令和2年度	支出項目	令和元年度	令和2年度
総収入	[] ,000円	[] ,000円	総支出	[] ,000円	[] ,000円
指定管理料	[] ,000円	[] ,000円	自主事業費	[] ,000円	[] ,000円
事業収入（入場料等）	[] ,000円	[] ,000円	管理費	[] ,000円	[] ,000円
利用料収入	[] ,000円	[] ,000円	施設・設備管理費	[] ,000円	[] ,000円
補助金・助成金等	[] ,000円	[] ,000円	一般管理費	[] ,000円	[] ,000円
その他	[] ,000円	[] ,000円	人件費	[] ,000円	[] ,000円
			その他	[] ,000円	[] ,000円

質問7 指定管理者施設の補填の有無についてご記入ください [指定管理者の方のみ]

種類	令和元年度	令和2年度
1. 貸館返金額の補填	1.あり 2.なし	1.あり 2.なし
2. 感染症対策予防消耗品、機材等の購入費の補填	1.あり 2.なし	1.あり 2.なし
3. その他[具体的に：]	1.あり 2.なし	1.あり 2.なし

質問8 令和2年度において、新型コロナウイルス感染症対策として設けられた補助金等で活用したものをご記入ください [複数回答可]

1. 厚生労働省 雇用調整助成金
2. 経済産業省 セイフティネット貸付
3. 経済産業省 コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（J-LODlive補助金）
4. 文化庁 令和2年度文化施設の感染症防止対策事業
5. 文化庁 令和2年度文化芸術収益力強化事業
6. 文化庁 令和2年度生徒やアマチュアを含む地域の文化芸術関係団体・芸術家によるアートキャラバン
7. 文化庁 令和2年度子供のための文化芸術体験の創出事業
8. 文化庁 令和2年度最先端技術を活用した文化施設の収益力強化事業
9. 文化庁 チケット寄附税制
10. 国・自治体等の補助金、助成金等
11. 民間の補助金等
12. その他[具体的に：]
13. 補助金等は活用していない、申請をしたが採択されなかった ⇒補問8-1へ

補問8-1 上記をいずれも活用しなかった施設の方にお聞きします。活用しなかった理由は何ですか。

4 施設の利用状況

質問9 施設全体の利用状況

利用可能日数		感染症による閉館日数		感染症以外の理由による閉館日数	
令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
日	日	日	日	日	日
利用日数		稼働率			
令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度		
日	日	%	%		

質問10 ホール毎の利用状況

	利用可能日数		利用日数		稼働率		年間入場者・参加人数	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
ホール1	日	日	日	日	%	%	人	人
ホール2	日	日	日	日	%	%	人	人
ホール3	日	日	日	日	%	%	人	人
ホール4	日	日	日	日	%	%	人	人

5 事業の実施状況

質問11 事業の実施状況

補問11-1 ホールで実施した自主事業	自主事業	
	令和元年度	令和2年度
事業の総数	件	件
音楽	件	件
演劇	件	件
舞踊	件	件
伝統芸能	件	件
演芸	件	件
総合	件	件
上記以外の文化芸術系催し	件	件
文化芸術以外の催し	件	件

補問11-2 ホール以外で実施した自主事業 (アウトリーチ等を含む)	自主事業	
	令和元年度	令和2年度
事業総数	件	件
音楽	件	件
演劇	件	件
舞踊	件	件
伝統芸能	件	件
演芸	件	件
総合	件	件
上記以外の文化芸術系事業	件	件
文化芸術系以外の事業	件	件

補問11-3 ホールで実施した貸館事業	貸館事業	
	令和元年度	令和2年度
事業の総数	件	件
音楽	件	件
演劇	件	件
舞踊	件	件
伝統芸能	件	件
演芸	件	件
総合	件	件
上記以外の文化芸術系催し	件	件
文化芸術以外の催し	件	件

質問12 事業中止について要請、申し入れ等の有無	令和元年度 [各設問単一回答]		令和2年度 [各設問単一回答]	
	1. 設置自治体等の施設閉館要請にともない事業を中止した	1.あり	2.なし	1.あり
2. 自主事業について、自治体の方針として中止した	1.あり	2.なし	1.あり	2.なし
3. 自主事業について、施設の方針として自主的に中止した	1.あり	2.なし	1.あり	2.なし
4. 自主事業について、出演者や関係者等の都合により中止した	1.あり	2.なし	1.あり	2.なし
5. 貸館事業について、主催者の判断で中止した	1.あり	2.なし	1.あり	2.なし
6. 貸館事業について、設置自治体の方針として主催者団体に中止を申し入れた	1.あり	2.なし	1.あり	2.なし
7. 貸館事業について、施設の方針として自主的に主催者団体に中止を申し入れた	1.あり	2.なし	1.あり	2.なし
8. その他 [具体的に：]	1.あり	2.なし	1.あり	2.なし

6 その他の影響と今後について

質問13 新型コロナウイルス感染症の対応で困ったことはどんなことですか [複数回答可]	1. 来場者に対する適切な感染症対策の方法 2. 施設職員や関係者に対する適切な感染症対策の方法 3. 関係者に新型コロナウイルスに感染した人がいたことによる事業への影響 4. 公演中止による告知、連絡やチケット代払戻の対応方法 5. 感染症対策のための負担が大きい 6. 自主事業中止に伴う経費（出演者、出演団体、制作外注先など）の支払いの処理方法 7. 自主事業中止に伴う想定収入の減少、未消化経費への対応 8. 職員の勤務体制、配置の変更などが必要となった 9. 今後の運営や事業の予定が立たない 10. 施設の改修工事等に遅れが生じた・予定を変更せざるを得なかった 11. その他 [具体的に：] 12. とくに困ったことや大きな影響はなかった
補問13-1 質問13で1.から11.に回答した方にお聞きします。質問13の設問の中で最も困ったことはどんなことですか。	[] ※質問13 1.～11.の回答の中から一つを選択してください。
質問14 貴施設において、新型コロナウイルス感染症の対策についての情報源としてどのような情報を活用しましたか [複数回答可]	1. 内閣府、厚生労働省等の国の情報 2. 文化庁新型コロナウイルスの影響を受ける文化芸術関係者に対する支援情報窓口（ホームページ） 3. 設置自治体等（保健所を含む）の情報 4. 劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン 5. 全国公立文化施設協会のホームページ 6. 他の施設の情報 7. 医師、リスクマネジメント等の専門家・専門機関の意見 8. テレビ・新聞・その他マスメディアの情報 9. その他 [具体的に：] 10. いずれの情報も活用していない

<p>問15 今後の運営で懸念される事項はどんなことですか [複数回答可]</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鑑賞者、施設利用者の減少 2. 貸館利用者の減少 3. 運営費の確保が難しい 4. 積極的に自主事業等を実施する経済的な余裕がない 5. 例年実施していた自主事業の数を減らさざるを得ない 6. 経済的な理由から必要な人員を採用する余裕がない 7. 今後の感染症対策に対する手間 8. 事業の実施など先の見通しが立たない 9. 建物の修繕、改修、立替や機器の更新等の計画・実施が延期または中止となる可能性がある 10. その他 [具体的に：] 11. 懸念される事項はとくにない・わからない
<p>質問16 新型コロナウイルス感染症の拡大によって劇場・音楽堂等の活動が縮小されたことにより、地域にどのような影響を与えたと思いますか [複数回答可]</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の人の鑑賞などの楽しみの機会が減った 2. 地域の人やアーティスト、文化団体の活動の場が奪われた 3. 学校や福祉施設など地域を対象としたアウトリーチ等の活動ができなかった 4. 地域コミュニティの場を提供できなかった 5. 舞台技術の会社、民間プロモーター・劇団その他、文化産業に関わる地域の企業・団体や地域の観光・商業などに経済的な影響があった 6. その他 [具体的に：] 7. 当該地域においてはとくに大きな影響はないと思う・わからない
<p>質問17 感染症など不測の事態に対し、今後どのようなことが必要と考えていますか [複数回答可]</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設置自治体及び関係機関との情報の共有 2. 来場者、観客の安全対策の強化 3. 感染症対応を含む施設の緊急事態対応のマニュアル強化 4. 感染症を含む不測の事態に対する保険制度の拡充 5. 感染症を含む不測の事態に対する相談先の確保 6. 感染症を含む不測の事態による自主事業中止の際の金銭的な対処方法の明文化（経費・予算の繰越し処理、中止の場合の委託先への支払いのあり方、緊急時の準備予算の確保など） 7. 感染症を含む不測の事態に対応するための資材、設備、機器の拡充 8. 保健所、自治体の災害関連部署など、緊急時の関連部署との連携強化 9. その他 [具体的に：] 10. とくに必要と思われることはない・わからない
<p>質問18 新型コロナウイルス感染症に対する対応の状況や今後の対応について、感想やご意見をお聞かせください。</p>	

ご協力ありがとうございました。

インターネット配信

全国劇場・音楽堂等職員 アートマネジメント研修会

本年度はライブ配信講義が中心となります
開催日時にご注意ください



ライブ配信 6プログラム

令和4年 1月12日(水)～1月14日(金)

オンデマンド配信 2プログラム

令和4年 1月11日(火)～2月28日(月)

令和2年度プログラム再配信(8プログラム) 令和4年1月11日(火)～2月28日(月)

無料

事前申込

字幕付き

申込み受付期間:令和3年12月15日(水)～令和4年2月28日(月)

公益社団法人全国公立文化施設協会ホームページからお申込みください。

<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

主催 文化庁 / 公益社団法人全国公立文化施設協会

● オンデマンドプログラム (配信期間1月11日～2月28日) ●

● 特別企画「コロナ禍から再生に向けて」

令和3年6月、全国公立文化施設協会の会長に野村萬斎氏が新たに就任いたしました。狂言師として、数多くの狂言・能の公演で全国各地の公立文化施設を巡られた経験と2002年より20年近くに渡り世田谷パブリックシアターの芸術監督を務め、また2021年からは石川県立音楽堂の邦楽監督にも務めるなど、劇場の自主公演や運営にも携わった経験を持たれています。全国の劇場・音楽堂等は新型コロナウイルス感染症により、施設の一時閉館や自主公演の中止、貸館のキャンセル等により、これまでにない厳しい環境に置かれています。このような状況の中で、表現者としての想いや、芸術・文化の意義、劇場・音楽堂等が地域に向けて果たすべき役割などお話しさせていただきます。



[講師] 野村萬斎 (狂言師・(公社)全国公立文化施設協会 会長)

● 人材養成講座

我々が日々仕事を進めるためには「研修する」「勉強すること」によって課題を遂行しています。一定の目的を果たすためには、必要なスキルを身に付ける必要があると言われていきます。一般的に「スキル」とは「知識」「技能」「経験」「資格」つまり仕事に対応する能力といわれていますが、私達の仕事の遂行には不十分です。ものの見方や感じ方、考え方を学ぶことが必要だと思えます。

平成26年に「劇場・音楽堂等人材養成講座テキスト」を策定してから時が過ぎました。この間「文化芸術基本法」の改訂や「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律」など、わたくしたち劇場・ホールに働くものに関連する法律等が公布され「劇場・音楽堂等」には期待が寄せられています。この講座は劇場に就職して3年以内の職員を対象に「基礎編」としてまとめました。今回「劇場・音楽堂等の概要、使命と役割」と「事業運営の概要と危機管理」の2章構成としました。運営責任者の方をはじめ、すべての職員の方に受講していただき、劇場・音楽堂等が地域の文化拠点として運営されることを期待します。職員の皆様が全員で受講し意見交換をする、またはグループで受講するなどの工夫をして、ご活用いただければ幸いです。(各60分程度)

第1章 文化政策と劇場・音楽堂等

[講師] 柴田英紀 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー)

第2章 劇場・音楽堂等の事業、危機管理とリスク対応

[講師] 間瀬勝一 (公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー)

● 令和2年度 全国アートマネジメント研修会プログラム再配信 (配信期間1月11日～2月28日) ●

昨年度実施したプログラムを再配信いたします。昨年度ご覧いただけなかった方はもちろん、振り返りにもご視聴ください。(各90分)

プログラムの内容・講師等は令和2年度募集要項をご覧ください。

https://www.zenkoubun.jp/training/pdf/r02_art/boshu.pdf?04

講師・モデレーターの名刺等は収録しました令和2年2月現在となります。資料は配布いたしません。ご了承ください。

● 事業企画

劇場・音楽堂からのオンライン配信の試みと今後の可能性

[講師] 山中隆 (公財)びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール理事長兼館長
竹内淳 (公財)川崎市文化財団 ミューザ川崎シンフォニーホール 事業部長
山川愛 (公財)かすが市民文化財団 広報コミュニケーショングループ マネジャー
[モデレーター] 草加 叔也 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー)

● 事業企画

舞台芸術のデジタルアーカイブ化の意義と著作権上の課題

[講師] 福井健策 (骨董通り法律事務所 代表パートナー)
[講師・モデレーター] 太下義之 (同志社大学教授)

● 文化政策

文化ホールの現場から問い直す自治体文化政策 —財団、指定管理者の視点から—

[講師] 砂田和道 (くらしに音楽プロジェクト 事務局長)
[講師・モデレーター] 中川幾郎 (帝塚山大学名誉教授)

● 管理・運営

公立文化施設で必要とされる契約

[講師] 望月賢司 (望月賢司法律事務所 弁護士)
[モデレーター] 矢作勝義 (公財)豊橋文化振興財団 芸術文化プロデューサー)

● 文化政策

法の制定と文化施設の役割を考える —「令和2年度障害者文化芸術活動推進に向けた 劇場・音楽堂等取組状況調査」結果から—

[講師] 大澤寅雄 ((株)ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 主任研究員)
岸本匡史 (公財)としま未来文化財団 事業本部 としま区民センター・野外劇場
運営課長
[モデレーター] 間瀬勝一 (公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー)

● 管理・運営

新型コロナウイルス感染拡大長期化に於ける文化施設の今後

[講師] 本間基照 (MS&ADインターリスク総研 (株) リスクマネジメント第一部 災害リスク
グループ マネジャー 上席コンサルタント)
橋本恭一 (福井県立音楽堂 (ハーモニーホールふくい) 事業部長・プロデューサー)
[モデレーター] 岸正人 (公社)全国公立文化施設協会 事務局次長)

● 事業企画

公立劇場と民間劇場等との連携を通じたダンス公演の 可能性を考える

[講師] 唐津絵理 (愛知県芸術劇場 シニアプロデューサー・Dance Base Yokohama
アーティストックディレクター)
林慶一 (d-倉庫 プロデューサー)
[モデレーター] 木全義男 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー)

● 事業企画

感染症との共生を超えて—公立劇場と芸術団体の取組から—

[講師] 福島明夫 (公社)日本芸能実演家団体協議会 常務理事)
大久保充代 (公財)八尾市文化振興事業団 業務執行理事 兼 八尾市文化会館プ
リズムホール館長
[モデレーター] 柴田英紀 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー)

● ライブ配信プログラム (スケジュール日時のみ視聴となります) ●

時間は前後する場合があります。質疑応答の時間を含みます。

10:00~12:00

●文化政策

ウイズコロナ下における文化芸術団体との連携に向けて

コロナ禍の終息が見通せないなか、公立文化施設では当面は引き続きの感染防止策を講じつつ、公演等の事業や貸館等を計画・実施せざるを得ません。そんな状況下においては、これまで以上に地域の文化団体や劇団・楽団等の芸術団体との連携が必要とされます。コロナ禍で文化施設同様に大きな打撃を受けた文化芸術団体をお招きし、「コロナ禍における文化芸術への影響調査(文化芸術推進フォーラム)」や「劇場・音楽堂等の運営に関するコロナ感染症影響調査(公文協)」の速報、文化庁令和4年度予算等を紹介しつつ、今後の対応や展開、そして連携についてともに考えます。

[講師] 福島明夫(公社)日本芸能実演家団体協議会 常務理事
桑原浩(公社)日本オーケストラ連盟 専務理事・事務局長
[モデレーター] 岸正人(公社)全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長

14:00~16:00

●管理・運営

コロナ禍を踏まえ、将来に繋がる公立文化施設の運営と事業企画と、それを実現するための制度、組織、戦略について

様々な課題が浮き彫りになった現代社会において、新型コロナウイルス感染症が終息した先に劇場運営はどのようにあるべきか。また、その運営を達成するために必要な劇場事業とは何か。イギリスなどの海外の事例を参考にしながら今日の課題・要請と地域的な課題・要請の両方側面から考える。そして、それらを実現するために、制度(助成・寄付・チケット等資金調達)、組織(専門人材の育成・雇用)、戦略(目標)といった観点から何が必要かを検討する。

[講師] 石田麻子(昭和音楽大学教授、学長補佐)
[モデレーター] 矢作勝義(穂の国とよはし芸術劇場PLAT芸術文化プロデューサー)

1/12
(水)

●管理・運営

劇場・ホールの換気・空調設備について

建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)によって、室内環境の衛生的向上が図られてきたと言われていますが、一方で基準値に満たない建築物がまだ多くあることも指摘されています。そうした中、コロナ問題が重なり、劇場やホールにおける空調・換気設備などによるコロナ飛沫感染リスクを心配されている方も少なくないと思います。

新国立劇場ではいち早く舞台・客席内並びに各リハーサル室における換気状況の現状把握のための調査を実施しています。調査を実施された粒子計測に関する専門家奥田知明教授からその内容を報告してもらいます。また、同劇場建築設備設計者でサントミュージゼ上田並びにフェニーチェ堺も設計された金澤隆司氏・吉川佳江氏(サントミュージゼ上田の建築設備設計担当)から劇場・ホールにおける空調・換気設備の考え方を聞くことで、施設設置者・管理者が留意すべき事柄について考えてみたいと思います。

[講師] 奥田知明(慶應義塾大学理工学部応用化学科教授)
金澤隆司(株)梓設計 顧問(非常勤) 元(株)柳澤孝彦+TAK建築研究所 代表取締役
吉川佳江(株)梓設計 エンジニアリング部門機械システム部
[モデレーター] 本杉省三(劇場計画研究者 工学博士・日本大学 名誉教授)

●事業企画

障害者文化芸術活動の推進に向けて踏み出す初めの一歩～障害を超えて、共感、共生に向かうために～

令和2年度に実施した「障害者文化芸術活動推進に向けた劇場・音楽堂等取組状況調査」によると、「障害者を対象とした自主事業を実施していない」86.5%。その理由は「どういった事業を実施したらいいかわからない」41.7%、「実施するための知識のある人材がない」40.1%となっています。社会の構成員である障害者、社会的弱者。共に生きる仲間として共感し、共生へ向かう意識を醸成していくための初めの一歩をどこから始めたらいいのか。

地域に根指し多岐にわたる活動を展開し、障害者と健常者が協働して作り上げる舞台製作を続ける鳥の劇場の芸術監督中島諒人氏と、障害者とアートと市民を繋ぐ先駆的な事業を展開し続けるNPO法人エイブル・アート・ジャパン代表理事の柴崎由美子氏を講師に迎え共に考えます。

[講師] 中島諒人(鳥の劇場 芸術監督)
柴崎由美子(NPO法人エイブル・アート・ジャパン 代表理事/事務局長)
[モデレーター] 水戸雅彦(えずこホール(仙南芸術文化センター) 前館長)

1/13
(木)

●管理・運営

劇場・音楽堂等職員の労務管理を考える

舞台芸術作品を制作する劇場の現場では、職員の労務管理への対策が喫急の課題となっている。中でも労働時間の管理は、舞台芸術作品を創造する現場を抱える劇場にとって看過できない状況になることが顕在化してきて始めている。もちろん、全ての課題を解決できる手法や手続きが確立されるに至っていないわけではないが、努力や試行錯誤が積み重ねられてきている。今回のアートマネジメント研修会では、創造現場における労務管理の課題解決に向けた具体的試みについて考えていきたい。

[講師] 堀内真人(神奈川芸術劇場事業部長 兼 技術監督)
松下洋章(世田谷文化生活情報センター副館長)
内藤美奈子(東京芸術劇場 事業企画 課長)
[モデレーター] 草加叔也(公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

●事業企画

事業が目的化しない企画立案の方法 —優秀事例から学ぶ—

ミッションの重要性が叫ばれて20年が経ちます。ミッションとは、寄付行為の目的にある抽象的な文言を超えて、国民にわかりやすく伝える我々の行動規範であり、公立劇場の社会的な存在意義を示すものです。従って、事業企画は、自らの劇場ミッションを達成するためにあるということを改めて考えてほしいという講座です。

明確なミッションのもとに目標を設定し事業推進している千葉県と川崎市の取組を紹介し、その事例に学びます。事業が独り歩きして目的化していませんか?

[講師] 糸日谷智孝(公財)千葉県文化振興財団 文化振興グループ 千葉県少年少女オーケストラ運営グループ
藤田千史(川崎市アートセンター プロデューサー)
[モデレーター] 柴田英紀(公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

1/14
(金)

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

主 催：文化庁 / 公益社団法人全国公立文化施設協会

目 的：劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的として、アートマネジメントに関する研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

対 象：劇場・音楽堂等職員、地方自治体の文化芸術振興行政担当者、アートマネジメント教育関係者、学生、アートマネジメントに関心のある方、一般の方等

配信（開催）期間：

ライブ配信 令和4年1月12日（水）～ 1月14日（金） 6プログラム

オンデマンド配信 令和4年1月11日（火）～ 2月28日（月） 2プログラム

令和2年度プログラム再配信 令和4年1月11日（火）～ 2月28日（月） 8プログラム

受講申込：令和3年12月15日（水）～ 令和4年2月28日（月）

※**ライブ配信**につきましては、**配信前日までの申し込みが必要です**。ご注意ください。

公益社団法人全国公立文化施設協会ホームページからお申込みください。

<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

お申込みの後、視聴ホームページのURLとパスワードをメールでお送りします。

参 加 費：無料

企 画 委 員：草加叔也 柴田英紀 水戸雅彦 矢作勝義

企画・制作：公益社団法人全国公立文化施設協会

[ご注意]

- ・お申込み時にご記入いただいたメールアドレスは、当事業に関する連絡の他、今後の事業案内等に使用させていただく場合がございます。
- ・プログラム内容、講師は変更になる場合がございます。また、各プログラムの配信時間、所要時間は前後する場合がございます。
- ・ネットワークの回線状況や視聴者側の環境により、再生が出来ない場合や画面、音声が不安定になる場合があります。ご了承ください。
- ・ライブ配信プログラムは、再配信等の予定はありません（ライブ配信のみとなります）。日時などご注意ください。
- ・ライブ配信では、リアルタイム字幕を予定しています。配信映像とのずれや、映像再生部分など字幕が表示できない場合が想定されます。ご了承ください。
- ・令和2年度プログラムの再配信については、資料は配布いたしません。ご了承ください。
- ・講義資料及び配信映像の録画・録音・撮影など複製ならびに二次利用は一切禁止です。

問合せ先

公益社団法人全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館4階

tel 03-5565-3030 fax 03-5565-3050

e-mail art@zenkoubun.jp



令和3年度文化庁委託事業

「全国劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会」

— 舞台演出を支える劇場技術研修 —

- 1 主 催 文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会
- 2 目 的 劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な、専門的知識や技術の習得を図るための研修を行い、もって劇場・音楽堂等の円滑な運営に資する。
- 3 開催期間 令和3年12月20日（月）・21日（火）・22日（水）
- 4 会 場 新国立劇場 中劇場（〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目1番1号）
アクセス：京王新線（都営新宿線乗入）「初台駅」中央口直結 ※京王線は止まりません。
※車椅子をご利用の方は、東口をご利用になったほうが便利です。
<https://www.nntt.jac.go.jp/access/>
- 5 対 象
 - ・劇場・音楽堂等の舞台技術管理者及び舞台技術管理責任者または舞台技術担当職員（指定管理者、舞台業務受託者に属する者を含む）
 - ・文化行政主管部局の舞台技術担当職員
 - ・劇場・音楽堂等関係者、その他舞台技術関係者、舞台技術に関心のある者 等
- 6 プログラム 個別のプログラム内容は2ページをご覧ください。
- 7 お申込み
 - 受付期間 令和3年11月15日（月）～12月15日（水）
 - 申込方法 公益社団法人全国公立文化施設協会 ホームページからお申込みください。
<https://www.zenkoubun.jp/training/technic.html>
- 8 お申込み内容の確認・変更について
 - ・Web申込後、自動返信で受講受付内容及び受講生番号が返送されます。内容の確認をお願い致します。
 - ・申込内容の変更をご希望の方は、お電話で事務局までご連絡ください。
- 9 感染症予防対策について
 - ・実施にあたり、感染症予防対策を徹底します。皆様のご理解・ご協力をお願いします。

実施の
取組み

スタッフの健康
管理に努めます

会場の消毒を
徹底します

検温を実施します



来場時
お願い

マスク着用・
手洗いの徹底を

社会的距離の
確保を

会場内で大声・
歓談は控えて

時間に余裕を
持った来場を

▼こちらをあわせてご覧ください。

- ・全国公立文化施設協会ガイドライン (https://www.zenkoubun.jp/covid_19/index.html)
- ・新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みとご来場の皆様へのお願い (https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html)

舞台技術研修会 プログラム

日時	時間	プログラム内容	講師
12/20 (月)	12:30～	受付	
	13:00～ 13:10	挨拶	講師紹介
	13:10～ 16:30	プログラム 1 ※適宜休憩あり 仕込 プログラム 2～4 のための仕込とその解説	進行：草加叔也 (有)空間創造研究所 代表取締役 矢野森一 舞台監督 濱 照男 新国立劇場 技術部長
	16:30～ 17:30	新国立劇場（中劇場）の 舞台演出設備	講師：濱 照男 新国立劇場 技術部長 櫻井拓朗 新国立劇場 技術部 舞台課長 上田好生 新国立劇場 技術部 音響課長 立田雄士 新国立劇場 技術部 照明課長
12/21 (火)	10:00～	受 付	
	10:50～ 11:00	挨拶	文化庁
	11:00～ 12:30	プログラム 2 スモークマシンの選択と効果	講師：小西弘人 新国立劇場 技術部 技術統括室長 立田雄士 新国立劇場 技術部 照明課長 澁谷壽久 舞台監督 協力：株式会社特効
	12:30～	休 憩 (60 分)	
	13:30～ 17:00	プログラム 3 ※適宜休憩あり 幕設備の違いと投影効果	講師：濱 照男 新国立劇場 技術部長 小西弘人 新国立劇場 技術部 技術統括室長 協力：パナソニック株式会社 株式会社東広
12/22 (水)	10:00～	受 付	
	10:30～ 12:30	プログラム 4 舞台技術者がインクルーシブシア ターを考える	進行：草加叔也 (有)空間創造研究所 代表取締役 講師：南部充央 (一社)日本障害者舞台芸術協働機構 代表理事
	12:30～ 12:40	総括	進行：草加叔也 (有)空間創造研究所 代表取締役
	12:40	解 散	

協力：公益財団法人新国立劇場運営財団

当日の進行状況により、時間が前後する可能性があります。

新型コロナウイルス感染症の状況等により

実施の有無、開催方法についての変更が生じた場合は、速やかにウェブサイト等で、お知らせします。

— 事 務 局 —

公益社団法人 全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 4F

電話：03-5565-3030 FAX：03-5565-3050

E-mail：tech@zenkoubun.jp

令和3年度 文化庁委託事業
劇場・音楽堂等基盤整備事業報告書

令和4年（2022年）3月発行

編集発行 公益社団法人全国公立文化施設協会
〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18
東京都中小企業会館4F
電話 03-5565-3030 FAX 03-5565-3050

編集協力 株式会社ステラ
印刷 日本印刷株式会社
